パワーリング・プログレス

2020サステナビリティレポート

Livent

コンテンツ

03 CEOメッセージ

05 Liventについて

15 サステナビリティプログラム

20 新たなゴール

23 環境

30 社会的責任

42 ガバナンス

44 ESGパフォーマンス指標

50 開示資料

61 独立監査人の保証書

免責事項

このレポートにおいてマテリアリティとはサステナビリティトピックのリストを指します。当社のステークホルダーにとって重要であるためLiventは適切に情報を開示します。財務報告や規制上の重要性と混同すべきではありません。

将来の見通しに関する記述: 本報告書には将来の出来事や期待に関する特定の記述が含まれており、そのような記述は1995年米国私募証券訴訟改革法における将来の見通しに関する記述にあたります。将来の見通しに関する記述には、「かもしれない」、「するだろう」、「継続するだろう」、「結果的にそうなるだろう」、「はずだ」、「期待する」、「意図する」、「計画する」、「予想する」、「信じる」、「確信する」、「推定する」、「予測する」、「可能性がある」、「予測する」、「自信がある」、「予定である」、「プロジェクトする」などの語句を含むもの、およびこれらの語句の否定形やその他の類似した用語が含まれます。歴史的事実の記述を除いて、将来に関するLiventの期待、仮定、予測を反映したすべての記述は、将来の見通しに関する記述です。Livnetの将来の見通しに関する記述は、将来の業績を保証するものではなく、既知および未知のリスク、不確実性、および予測が困難な状況変化を対象とします。Liventは将来の見通しに関する記述に反映された期待が、合理的な仮定に基づいていると信じていますが、これらの期待が達成されることを保証するものではなく、様々なリスクや不確実性により実際の結果がこれらの将来の見通しに関する記述で示されたものと大きく異なる可能性があります。Liventの実際の結果が、将来の見通しに関する記述で予測されたものと大きく異なる原因となる特定の要因については、2020年12月31日に終了した会計年度の最新の年次報告書フォーム10-K、および、その他のSEC報告書に記載されているリスク要因を参照してください。Liventは新しい情報や将来の出来事等に応じて、適用法で義務付けられている場合を除き、将来の見通しに関する記述を公に更新する義務を負いません。

本レポートに含まれる写真の一部はCOVID-19の感染拡大以前に撮影されたものであり、ソーシャルディスタンスやマスク着用に対するLiventのプロトコルを示すものではありません。

本レポートではGRI、SASB、TCFD、UNSDGの各開示情報の参照先をグレーのテキストで記載しています。それらは開示情報の参照のセクションにまとめられています。

CEO メッセージ

フェニックス、アルゼンチン

GRI 102-14, GRI 102-46,TCFD: 戦略

Liventは革新的な技術・リチウム技術に関する深い専門知識・豊かな伝統を誇りにしており、80年近くにわたってお客様と協力し、現代の生活を支える多くの画期的な技術や業界の進歩を実現してきました。今日の私たちの文化は、当社の先駆的なルーツと安全で責任ある持続可能な事業への継続的な取り組みの両方を反映しています。

"当社の企業文化の中心は、Liventだけでなく社会全体のため、継続的な改善とパワーリング・プログレスに対する真摯なコミットメントです。"

パワーリング・プログレスは2020サステナビリティレポートのテーマです。この報告書では、2020年における当社のサステナビリティへの取り組みと、環境、社会、ガバナンスの優先分野における進捗状況が紹介されています。もちろん、2020年は普通の年ではありませんでした。私たちの業績はCOVID-19の世界的な流行を背景に設定されました。COVID-19のパンデミックは、すでに困難なビジネス環境にあったリチウム業界の状況をさらに悪化させました。このような状況下でも、Liventは立ち上がりました。私達は従業員とその家族の健康、安全、幸福を守るため、精力的に必要な予防措置を講じました。

私は個人的にもプロフェッショナルとしても、社員が一丸となって日常生活や業務に適応したことをこれ以上ないほど誇りに思います。また、私たちは安全に操業してお客様のニーズに応え続けることに集中しました。実際、私たちのリチウム製品の多くはパンデミックの際に必要不可欠な用途に使用されました - 命を救う医薬品成分や工業用消毒剤から、人工呼吸器、ネブライザー、その他の重要な医療機器に使用されるコンポーネントまで。

パンデミックはLiventが地域社会との関わりを深め、支援する機会にもなりました。
英国とインドでの個人用保護具（PPE）の寄付、米国でのCOVID-19コミュニティ・ワクチン・クリニックの開催、アルゼンチンでの医療従事者、救急車サービス、不可欠な航空輸送の提供など、私たちは近隣諸国を支援できる立場にいたことに感謝しています。

当社の会社としての歩みを見守ってくださっている方は、2019年3月にLiventが完全に独立した直後、サステナビリティプログラムの新しい方向性を定めたことをご存知だと思います。この新しい方向性は、リチウム企業としての当社の使命、そしてグリーンエネルギーへの移行を促進し気候変動と戦う者として、当社のミッションにおいてサステナビリティが中心であることをより反映したものでした。

> "当社の企業文化の中心は、LIVENTだけでなく社会全体のため、継続的な改善とパワーリング・プログレスに対する真摯なコミットメントです。"

”当社の顧客やステークホルダーが、意欲的にサステナビリティ目標やコミットメントを推進する最前線にいることを認識しており、当社は業界を前進させるためにこれらの目標に全面的に協力するつもりです。”

ベッセマーシティー、アメリカ

それ以来、当社の取り組みはお客様や独立した業界評価機関からも評価されており、EcoVadisからサステナビリティに関するゴールド評価（2020年）を受け、同業他社の上位3%にランクインしています。

2020年にはその他にも多くの需要な成果がありました。その中には、世界各地で記録に残る負傷者ゼロ、記録に残る流出・放出ゼロを達成したこと、初のグリーンボンド発行を成功させたこと、アルゼンチンで地域社会との連携プログラムを強化・拡大したこと、そして米国および世界各地で起きた人種差別や社会的不公正に対する抗議行動を受けて、グローバルなDE&Iの取り組みを強化したことが挙げられます。

2021年初頭には新たなサステナビリティ目標を発表し、さらに高い水準を目指しています。この目標は、2019年に設定したベースライン指標に基づいて設定されています。当社の新たな目標は単独で設定されたものではありません。これらはLiventのお客様、コミュニティ、投資家、従業員、その他のステークホルダーとの広範で継続的な対話に基づいて、彼らの優先事項を反映しています。

新しい目標は野心的で幅広い課題を表しています。この目標はLiventのサステナビリティへの道筋を示すものです。

新しい目標については本レポートで詳しくご紹介しています。以下は、私たちの主なコミットメントです。

- 2040年までにカーボンニュートラル達成、100%再生可能エネルギーへ移行、持続可能な水の利用、責任あるオペレーションと生物多様性への継続的な取り組み、水・温室効果ガス（GHG）排出・廃棄物・エネルギーの大幅な削減
- 当社の事業およびサプライチェーンにおいて、地域社会を向上させ社会的進歩と人権を促進する、という当社の誓約を再確認すること
- ESGの透明性と検証を強化し、リチウム業界の基準設定をサポート

この透明性に関する最後のポイントについて、Liventは2020年後半にIRMA（責任ある鉱業保証のための取り組み）のため、アルゼンチンの事業に対して複数年にわたる認証プロセスの精査を開始しました。2021年2月、LiventはIRMA申請中のメンバーとして認められ、アルゼンチンでの鉱山事業に対してIRMAの自己評価を開始した最初の企業となりました。メンバーシップコミットメントの一部として、Liventは責任ある採掘のために厳格で包括的なIRMA基準への準拠について、2022年3月までに独立した第三者検証監査を開始します。

多くの目標を達成することは容易ではありません。私たちはリチウム業界において、サステナビリティのパフォーマンスと透明性を向上させる取り組みをリードすることに挑戦しています。同時に、Liventにはこのように大胆なプラットフォームを追求する実績と信頼性があると信じています。当社の顧客やステークホルダーが、意欲的にサステナビリテ ィの目標やコミットメントを推進する最前線にいることを認識しており、当社は業界を前進させるためにこれらの目標に全面的に協力するつもりです。

当社の成功は、当社がこれまでの歴史の中で行ってきたように革新的なソリューションを開発し、それを適切な財務投資とリソースの投入によって長期的にサポートする能力にかかっています。当社のサステナビリティへの取り組みを次のレベルに引き上げるために、最高水準の企業市民としての責任を持ち続けます。当社は明るく持続可能な未来に向けて、世界をより良くし、パワーリング・プログレスするLiventの役割に期待しています。

敬具

Paul Graves

社長兼CEO

LIVENTについて

ベッセマーシティー、アメリカ

左上: R&Dラボ　ベッセマーシティー、アメリカ　右上: 世界的なパンデミック宣言前の2020年1月、バッテリージャパン2020でのLiventの仲間たち。
下: Bromborough、イギリス

会社概要

GRI 102-1, GRI 102-2, GRI 102-3, GRI 102-4, GRI 102-6, GRI 102-7, GRI 102-8, SASB: EM-EP-000.B, SASB: EM-EP-000.C

Liventは80年近くにわたり、世界の電力を支えるリチウムを安全かつ持続的に使用するために、お客様と協力してきました。当社は増大するリチウム需要に対応するために、高品質の完成品リチウム化合物を製造する能力、評判、ノウハウを持つ世界有数の企業です。当社はリチウム業界で最も幅広い製品ポートフォリオを持ち、現代のモビリティ、グリーンエネルギー、モバイル経済の成長と発展を可能にします。また、航空宇宙、医薬品、ポリマー、農薬、電子機器、潤滑油、医療機器、空気・水処理、建設、鍛冶、防衛など、他の多くの重要な産業で使用される特殊リチウム化学製品も製造しています。

Liventのユニークな立場は、ブラインベース事業の低コストと持続可能性によって強調されています。リチウムの直接採（DLE）プロセス技術の使用と進歩に成功した数十年の実績を含む、革新と専門知識の遺産；主要な自動車OEMs、バッテリーメーカー、カソード活物質メーカー、およびその他の自動車業界のサプライヤーとのパートナーシップ。その他の差別化要因としては、次世代の工業用リチウム製品の開発に継続的に投資していること、多様な世界的ネットワークを有していること、顧客のニーズや将来の計画に応じて水酸化リチウム、炭酸リチウム、他の形態のリチウムを柔軟に提供できることなどが挙げられます。

Liventは、米国、英国、アルゼンチン、中国、インドに製造拠点を持つグローバル企業です。

目的

Liventの目的はよりクリーンで健康的で持続可能な世界のために、リチウムテクノロジーを利用して人々の生活に力を与えることです。

価値観

GRI 102-16

- **安全第一：**私たちはすべての活動において安全を最優先にしています。
- **お客様と共栄：**お客様が成功したときにのみ私たちも成功することができます。お客様のお話を伺い、学び、そして協力します。
- **責任を持つ：**私たちは倫理的かつ誠実に行動し、ビジネスのあらゆる側面で責任ある持続可能な実践を推進します。
- **違いを祝って楽しむ：**私たちは視点、背景、専門知識の違いを大いに受け入れ、従業員が透明性を保つことができるようにします。従業員が自分自身を仕事に持ち込むことを奨励することにより、Liventをよりダイナミックにします。
- **絶えず革新する：**私たちは世界を前進させる手助けをしており、機敏な思考、業界をリードする材料科学の専門知識、そして私たちの核となる要素であるリチウムに対する深い理解を通して、常に革新的であるよう努めています。

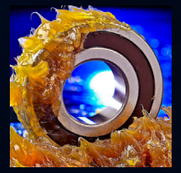
歴史

Liventのルーツは、1940年代にミネソタ州で設立されたリチウム・コーポレーション・オブ・アメリカが、リチウムの用途開発のために米国連邦政府との提携を開始した時に遡ります。

1985年、FMCコーポレーション（FMC）がリチウム・コーポレーション・オブ・アメリカを買収してFMCリチウムを設立。2017年、FMCはFMCリチウムを独立した上場企業としてスピンオフする決定を発表しました。

Liventは2018年10月にニューヨーク証券取引所（NYSE：LTHM）で取引を開始し、2019年3月にFMCからの分離を完了して完全に独立した企業となりました。

1996年までLiventは米国ノースカロライナ州の硬岩鉱床から採掘したリチウムからリチウム化学製品を製造していました。1996年にノースカロライナ州での採掘が終了し、それ以降、LiventはアルゼンチンのSalar del Hombre Muertoの塩水鉱床からリチウムを採掘しています。2020年11月、Liventはカナダのケベックにあるnemaska Lithium Inc（"New Nemaska"）の事業と特定の資産を買収したコンソーシアムへの参加を発表しました。New Nemaskaは、世界で最も魅力的で持続可能なハードロック・リチウム・プロジェクトの一つであり、北米および欧州における信頼性の高いバッテリーグレードのリチウム化学品の供給に対する需要の高まりに対応することができます。



1950年代

米国政府と提携し、炭酸リチウムと水酸化リチウムの市場を開拓（セラミックス、ガラス、空気処理、グリース、軍事用途）

1970

スチレン・ブタジエン・ラバー（sSBR）に使用されるブチルリチウムの市場開発

1991

ソニーと共同で初のリチウムイオン電池を開発
バッテリー

1995

水酸化リチウムをニッケルリッチ正極に初めて適用

2007–2009

インドと中国にブチルリチウムのサイトをオープン

2018年10月

ニューヨーク証券取引所にIPOして、社名をLiventに変更

2020年11月

New Nemaskaへ25%の出資を発表

1940 | 1950 | 1960 | 1970 | 1980 | 1990 | 2000 | 2010 | 2018 | Livent

1944

ミネソタ州に設立されたリチウム・コーポレーション・オブ・アメリカ

水酸化リチウムの製造を開始

1954

米国ノースカロライナ州ベッセマーシティに生産拠点を開設

1980

U.K.ブチルリチウムをオープン施設

1985

FMCがリチウム・コーポレーション・オブ・アメリカを買収

1996

アルゼンチンのサイトをオープン

ノースカロライナ州の採掘を廃止

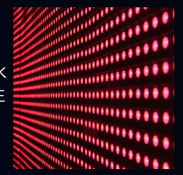
正極材技術に関する初の特許を出願

2000

バッテリー向けSLMP®技術の最初の特許を出願

2017

中国のRugaoで水酸化リチウムの生産を開始



2019

LiventがFMCからの分離を完了

印刷可能リチウム技術の初の特許を出願

場所

GRI 102-4, SASB: EM-EP-000.B, SASB: EM-EP-000.C

Liventは世界5カ国に製造・調達施設を持ち、7カ国にオフィスを構え、世界中に展開しています。当社は世界で最も純度が高く信頼性の高いリチウムの供給源のひとつであるアルゼンチンのSalar del Hombre Muertoの塩水鉱床からリチウムを抽出しています。Salarはブエノスアイレスの北西約800マイル、アンデス山脈の海抜約2.5マイル（4,200メートル）のところに位置します。

当社は独自のDLEプロセスを用いて、20年以上にわたりSalar del Hombre Muertoで操業してきました。これまでの操業経験から、安全かつ持続的に塩水からリチウム化合物を抽出するプロセスについて深く理解しています。

● **オフィス**
● **製造/供給拠点**

北アメリカ
ベッセマーシティー、ノースカロライナ州、アメリカ

南アメリカ
Fénix – Catamarca, アメリカ
Güemes – Salta, アルゼンチン

ヨーロッパ
Bromborough – イングランド、UK

アジア
Patancheru – Telangana, インド
Rugao – Jiangsu, 中国
Zhangjiagang – Jiangsu, 中国

Salar del Hombre Muerto、アルゼンチン

製品とサービス市場

GRI 102-6

お客様との緊密なパートナーシップにより、お客様の目的や将来のニーズを直接把握し、プロセスや製品の革新に役立てています。

私たちの主な製品と研究分野は以下の通りです：

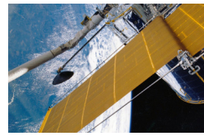
- 水酸化リチウム と 炭酸リチウム 電気自動車（EV）、再生可能エネルギー、電子機器、電動工具、潤滑油などの高性能エネルギーおよび特殊用途向け
- ブチルリチウム ポリマー、医薬品、農薬、電子機器用化学品向け
- 高純度リチウム金属 一次電池や次世代二次電池、および航空宇宙アプリケーション用の軽量アルミニウム・リチウム合金
- 安定化リチウム金属粉末 (SLMP®) と 印刷可能リチウム 次世代バッテリーシステム向け

私たちがサービスを提供している市場：

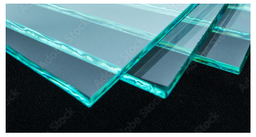
エネルギー貯蔵&バッテリーシステム

ポリマー

潤滑油


航空宇宙

薬剤&農薬


その他の産業用アプリケーション

上：Liventの製品はグリーンな生活を可能にする左中央：高純度のリチウム金属のインゴット。
左中央：水酸化リチウムの袋下：ブチルリチウムの輸送コンテナとトラック。

製品影響&気候変動

GRI 302-2, GRI 302-5, SASB:TR-AP-130a.1, SASB: RT-EE-130a.1, SASB: EM-MM-130a.1, TCFD: メトリックス&目標、リスクマネジメント、NUSDG：7

私たちは気候変動の影響を抑制し、低炭素経済を実現するためのソリューションを提供する上で、民間企業が重要な役割を果たしていると考えています。Liventの技術とアプリケーションはお客様の製品ラインと市場に革命をもたらす努力に貢献しています。したがって、当社は最高品質のリチウム製品を提供することで、エネルギーの展望を変えて気候変動に対処することに貢献しています。

私たちは、お客様や消費者がそれぞれのサステナビリティ目標を達成するのに役立つさまざまな製品を製造しています。一般的な用途は以下の通りです：

- **水酸化リチウム** と **炭酸リチウム**は、EVをはじめとするさまざまな用途で使用され、エネルギー密度が高く長寿命の電池の製造に不可欠なものです。
- **高純度のリチウム金属** は、次世代EV用バッテリーや高度なエネルギー貯蔵アプリケーションを実現するために重要な役割を担っています。また、リチウム金属は飛行機やロケットの構造体となる、より軽くて強い合金の製造にも役立っています。
- **ブチルリチウム**, は、燃費向上を促進するグリーンタイヤ、内装材の軽量化、さらには接着性・シール性・成形性を向上させる様々な用途で重要な役割を果たしており、ポリマーチェーンの生成に貢献しています。

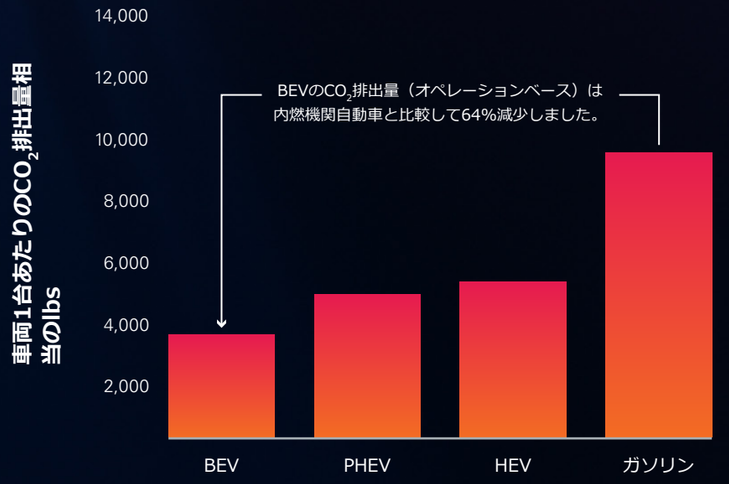
これらの例は、当社のリチウム製品が、最終製品の環境への影響を軽減しながら、効率と寿命の向上に貢献していることを示しています。

また、主要な戦略製品の直接的な影響を定量化することができます。例えば、EV1台あたりのCO_2e削減量を5トンと控えめに見積もった場合でも、「Liventグリーンボンドの配分と影響のレポート」, に記載されているように2019年に製造されたLiventの水酸化リチウムのEVへの適用により、少なくとも90万トンのCO_2eが削減できると試算されます（当社製品が使用されたと推定される約18万台のEVの耐用年数の合計）。EV1台あたりのCO_2eの削減量は、 再生可能エネルギーへの依存度が高まり、EVのサプライチェーンがより環境に配慮したものになれば、時間とともに増加していくでしょう。

電化の進展と化石燃料からの脱却が、気候変動対策において重要な役割を果たし続けることは明らかです。

EVs への移行、グローバルなCO_2削減の取り組みを支える。

バッテリー式EV（BEVs）はガソリン車や内燃機関者（ICE）と比較して64%のCO_2排出量（オペレーションベース）を削減します。



電力セクターの脱炭素化により、EVのCO_2排出量削減効果はさらに高まります。

ソース: アメリカ・エネルギー部門 2019年運用車両の排出量に関する年次推計値。

PHEV：プラグイン・ハイブリッド電気自動車

HEV：ハイブリッド電気自動車

イノベーション

Liventはリチウム産業における製品とプロセス革新のパイオニアです。私たちは、技術的な知識と処理およびアプリケーションの専門知識を求められています。当社はお客様と協力して多くの画期的なイノベーションと業界の進歩を達成してきた豊かな伝統があります。Liventの知的財産は120件以上の特許および特許出願におよびます。

Liventの”業界初”には次のようなものがあります：

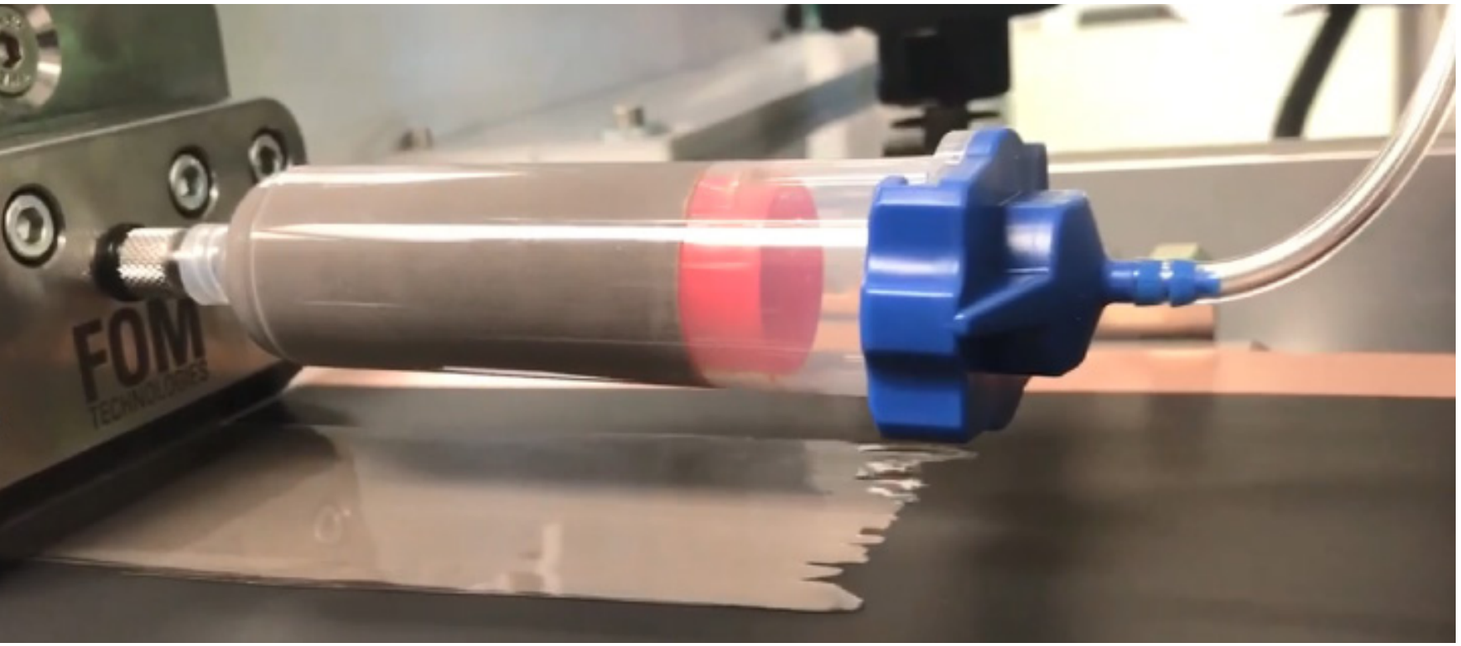
- ソニーと提携し世界初の商業用リチウムイオン電池を開発（1991年）
- 世界で初めて水酸化リチウムを高ニッケル含有正極に適用(1995年)
- DLEプロセス技術の商業化に初めて成功（1996年）
- 安定化リチウム金属粉（SLMP®）（2000年代）、印刷可能リチウム技術を開発（2019年）し、リチウムイオン電池（LIB）と固体電池（SSB）の技術を発展させた最初の企業
- アルゼンチンで事業を展開する企業として初めてIRMA（Initiative for Responsible Mining Assurance）認証プロセスの自己評価を開始し、世界でも有数のリチウム企業となる（2021年）

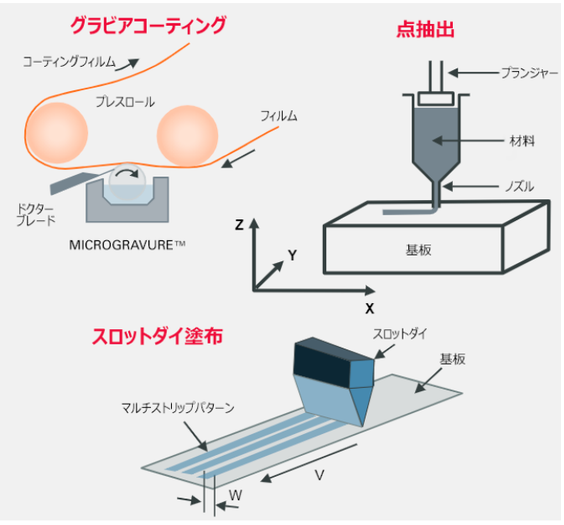
今日、Liventはリチウム採掘、高性能リチウム化合物の製造、リチウム製品の安全な取り扱い、およびカソード・アノード・バッテリー技術へのリチウムの応用における主要な分野のエキスパートです。

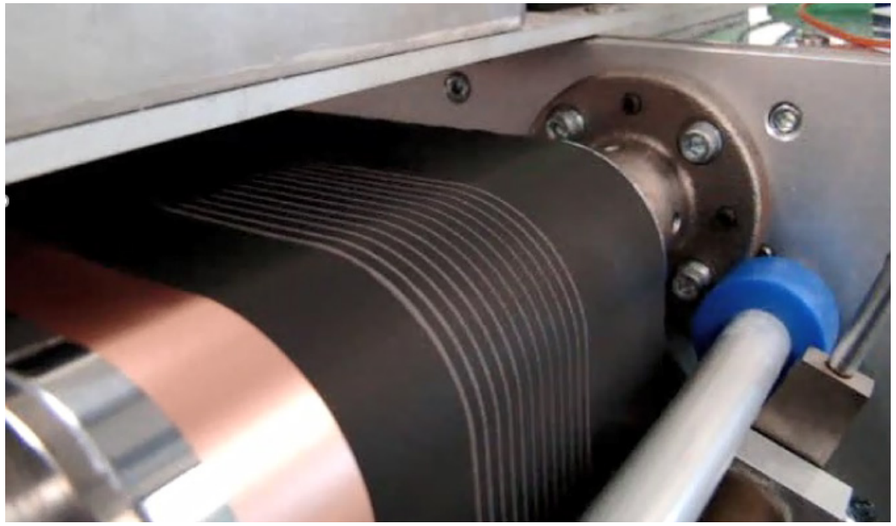
お客様の高まるハイテク需要に対応し次世代のリチウムソリューションの先駆けとなるために、Liventはお客様と協力して共同研究を行っています。Liventはお客様を第一に考え、緊密な関係を構築し、お客様のニーズを理解し、お客様が必要とする高性能の製品とソリューションを製造しています。

当社のイノベーションプラットフォームは、お客様のロードマップに沿った段階的な改善と次世代の機会の両方をもたらします。最先端の研究開発（R&D）における当社の強みと、高度なエンジニアリング機能を組み合わせて、以下を推進します：

- より安全で持続可能な製品とプロセス
- LIB・SSB・次世代アノードで使用する印刷可能リチウムと製造・応用技術
- 高エネルギー密度のカソードおよび電解質向けのリチウム塩
- リチウムのリサイクルと再利用をサポートするプロセスと技術







一般的な方法と業界標準の機器を使用して、印刷可能リチウムのアプリケーションができます。

印刷可能リチウム

20年以上前にLiventは乾燥室環境で安定した粉末状の金属リチウムである、安定化リチウム金属粉末（SLMP®）を開発しました。SLMPはリチウムイオン電池（LIB）のエネルギー密度を10%から50%改善し、80%の容量保持で2倍の電池再充電サイクルを可能にすることが実証されています。また、SLMPは固体電池（SSB）を可能にする新しいアプローチを実現します。

現在、LiventのR＆Dチームは主要な顧客と協力し、高度なLIBおよび次世代SSBバッテリーの製造にSLMPを適用する新しい方法を試験的に導入しています。Liventの新しい独自の印刷可能リチウム技術（PLT）は、電池セル部品の製造に使われる一般的な方法や標準的な業界機器の多くを使用し、商業規模でのリチウム金属のアプリケーションを可能にします。

PLTは、リチウム金属を使用した大規模な製造上の課題を解決するためのユニークな技術です。例えば、リチウムの使用量をより正確にコントロールすることができ、無駄な材料を減らし、高いプロセス効率を実現します。さらに、PLTはシリコン・マンガン・硫黄のように入手しやすい電池材料の使用を拡大する道を開きます。これにより、鉱物の使用に関する対立を減らし、電池セルのサステナビリティプロファイルをさらに向上させる新しい方法を提供します。

LIVENTの印刷可能リチウムは独自のポジションを確立しており、リチウム金属を使用する際の大規模な製造業の課題を解決し、電池セルのサステナビリティプロファイルを向上させます。

お客様重視

私たちが行うすべてのことは、お客様が中心となっています。この基本的な信念が、Liventの顧客中心のビジネスモデルの基礎となっています。当社のお客様との関係の多くは数十年に及びますが、その中には過去20年以上にわたってリチウムイオン電池業界のパイオニアやEVバリューチェーンのリーダーたちとの関係も含まれており、これらは業界の進歩を可能にする新技術の開発につながりました。

当社が歴史の中で常に行ってきたように、Liventは長期的な顧客関係を構築することを優先し、以下のことを行っています：

- お客様と緊密に協力して、お客様固有のニーズを理解し、お客様の要求に合った製品を開発すること。
- 製品の安全性、品質、信頼性、持続可能性に加えて、包装、配送、安全なアプリケーション、関連する技術のサポートサービスを継続的に改善すること。
- すべての戦略的製品ラインにおいて、長年ご愛顧いただいているお客様との約束を優先し尊重すること。
- ソリューションベースのアプローチでお客様と協力し、当社のロードマップと基準をお客様のニーズと仕様に合わせること。そして、お客様のご要望にお応えするために、生産能力と機能に投資します。

EVの成長と電動化

業界の専門家の多くは、EVの成長はまだ始まったばかりだと考えています。2020年前半のパンデミックによる操業停止から自動車生産工場が再開したとき、EVの回復力がより明らかになりました。政府や大手自動車メーカーが新たに力を入れて取り組んだこともあり、EVの販売台数は増加しました。この成長はCOVID-19からの回復が早かった中国だけに限らず、ヨーロッパが主導し、最終的には乗用車と小型商用車のEV販売台数で初めて中国を上回りました。

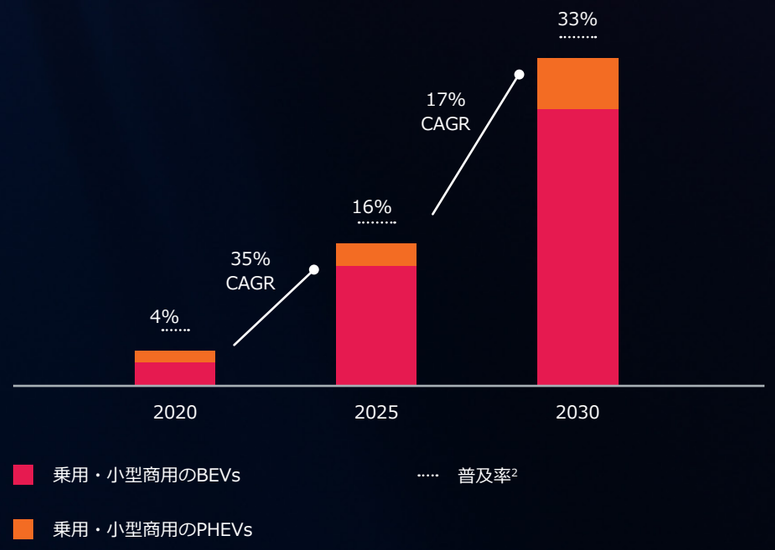
また、大手OEMメーカーはレガシービジネスで大きな課題に直面しているにもかかわらず、電動化計画に関してより強固なコミットメントを示しました。これらのコミットメントは、既存の生産設備の転用や新しい生産設備建設のための大規模な投資を複数回発表するなど、さまざまな形で行われました。また、EVプラットフォームにおいて魅力的なポートフォリオを構築したいという願望を反映した、業界全体での戦略的投資やパートナーシップ締結、そして新型車の発売に伴う注目度の高い広告などです。

私たちは、EVへの移行を促進する主要なファンダメンタルズは今後も継続すると考えています。消費者の嗜好、世界各国の規制当局の強力なサポート、バッテリー技術の進歩、製造規模の拡大などにより、今後数年のうちにEVはICE（内燃機関車）と同等のコストになるでしょう。

EVの急速な成長に加えて、発電における脱炭素化は世界的な成長に向けた新たなマイルストーンを達成しました。太陽光発電や風力発電などのグリーン電力の多くは、リチウム電池を使った蓄電システムを利用しています。また、パンデミックの発生により、各国・地域の政府は、より持続可能な方法で経済回復を促すためのアプローチを見直すことになりました。例えば、ヨーロッパの景気対策は交通機関のような大規模な産業をより環境に優しいものにすることを目標にしていました。

堅調なEV市場の成長予測

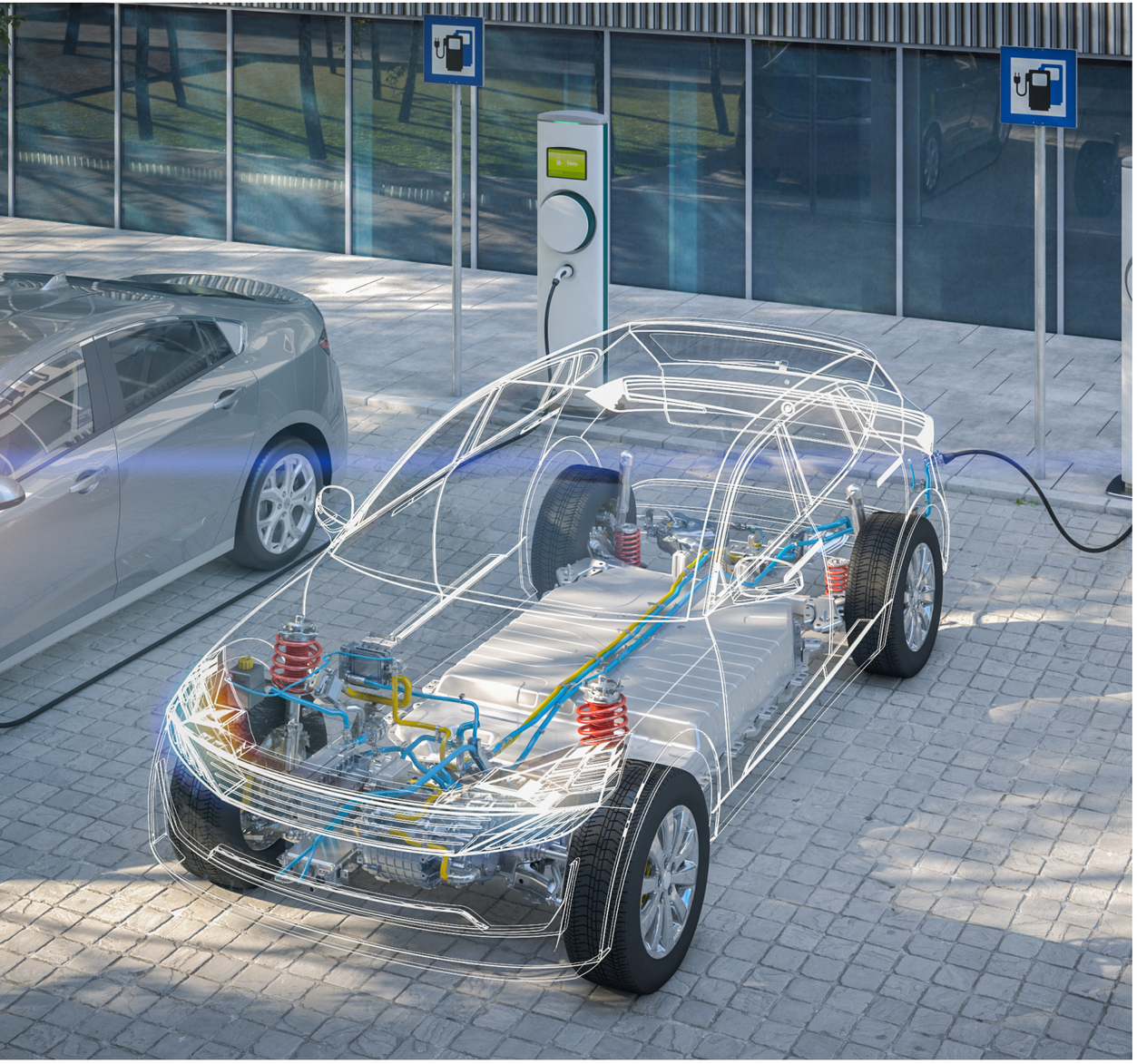
過去のEV販売台数と予測[1]



[1] ソース: EV販売台数

[2] 乗用車の総販売台数に占めるEVの総販売台数の割合

私たちが行うすべてのことは、お客様が中心となっています。この基本的な信念が、LIVENTの顧客中心のビジネスモデルの基礎となっています。



EV/電池材料のサプライチェーン

GRI 102-9

所有権の寿命ベースで、EVのサステナビリティ性がICEに比べて優れていることには疑問の余地がありません。同様に、自動車の電動化が世界的な二酸化炭素排出量の削減につながることもよく知られています。

EVへの移行は環境保護の理念に基づくものですが、リチウム生産者やその他の電池材料のサプライヤーがサステナビリティの要件の影響を受けないという意味ではありません。EVや電池材料のサプライチェーンが環境や社会に与える影響への注目は、ますます増加し、適切になってきています。ステークホルダーはすべての生産者の透明性を高め、情報開示とデータ報告の方法を標準化し、そしてデータ報告と情報開示の方法を独立して検証することを求めています。

Liventのサステナビリティ・クレデンシャルが私たちの競争上の優位性の重要な源泉であると考えます。サステナビリティが当社の成長戦略においていかに重要な検討事項であるか強調しています。どのように当社のプロセスがカーボン・インテンシティと地域の水問題とのバランスをとるのか、二酸化炭素の排出量や廃棄物の問題を発生させることなくサプライチェーンの主要工程を現地化するか等、あらゆる分野においてパフォーマンスを向上させるために、実測可能なコミットメントを行っています。私たちの顧客は、この透明性とサステナビリティにおけるリーダーシップを評価しています。そして、パワーリング・プログレスの精神に基づき、私たちはサステナビリティのパフォーマンスと透明性を向上させるため、リチウム業界の取り組みをリードすることに挑戦しています。私たちは顧客が野心的なサステナビリティ目標とコミットメントを推進する最前線にいることを知っており、リチウム業界をこれらの基準に移行させるため、それらの目標に完全に一致するつもりです。

パワーリング・プログレスの精神に基づき、私たちはサステナビリティのパフォーマンスと透明性を向上させるため、リチウム業界の取り組みをリードすることに挑戦しています。

Liventの成長戦略

LiventはEVからグリーンエネルギーグリッドまで、明日の産業のため、低炭素エネルギーへの移行の最先端にいる顧客にサービスを提供できることを誇りに思っています。私たちはEVの成長が高性能リチウム化合物の需要を促進すると信じています。Liventは業界をリードする立場、長年にわたる顧客との関係、良好なサステナビリティプロファイルにより、このトレンドから利益を得られる有利な立場にあります。

当社の成長戦略はブチルリチウム、高純度リチウム金属、およびその他の主要なリチウム製品の世界的なトップメーカーとしての地位を維持しつつ、急速に成長するEVおよびその他のバッテリー市場への高性能リチウム化合物の供給に注力することです。

当社の成長戦略の主な要素は以下の通りです：

- 生産能力の拡大
- 供給源の多様化
- アプリケーションおよびプロセス技術能力の拡大
- 次世代のリチウム化合物の開発
- 人材への投資
- よりクリーンで、より健康的で、より持続可能な未来を目指して

拡張計画

2020年3月、COVID-19パンデミックに対応するために世界中の当局が実施していた措置に起因する重大で実践的な制約のため、Liventは世界的にすべての資本拡張作業を一時停止することを選択しました。

2021年5月初旬、新たに長期の供給契約を締結、市場の見通しの改善、地元政府や地域社会の支援を背景にLiventは米国およびアルゼンチンでの生産能力増強計画を再開したことを発表しました。Liventはベッセマーシティーでの5,000トンの水酸化物の追加、およびアルゼンチンでの10,000トンの炭酸塩のフェーズ1の拡張を進めます。また、アルゼンチンでの炭酸塩の第2期増設10,000トンも開始し、2023年末までに商業生産を開始する予定です。長期的には、アルゼンチンの炭酸塩生産能力を3倍の約60,000トンに拡大し、顧客の需要増に対応するため複数の地域で水酸化物の生産能力を拡大する計画を維持しています。

New Nemaska

当社は既存のリチウム資源と能力を多様化し、成長させ、補完するための新たな方法を引き続き追求しました。2020年11月、Liventはカナダのケベックにあ るNemaska Lithium Inc（”New Nemaska”）の事業と特定の資産を買収したコンソーシアムへの参加を発表しました。現在、Liventは同プロジェクトの間接的な株式を25%保有しています。

New Nemaskaは、世界で最も魅力的で持続可能なハードロック・リチウム・プロジェクトの一つであり、北米および欧州における信頼性の高いバッテリーグレードのリチウム化学品の供給に対する需要の高まりに対応することができます。また、北米に位置し、現在開発中のヨーロッパおよび北米のEVサプライチェーンに近接していること、再生可能なゼロカーボン水力発電へのアクセスが豊富であることなどから、サステナビリティの面でも優れています。

LiventはNew Nemaskaへの出資に加えて、プロジェクトの計画・開発から建設、商業生産に至るまで、積極的な役割を果たしていきたいと考えています。これにより、化学変換操作を最適化し、費用対効果・資本効率が高く、持続可能な採掘計画を立てられるようにします。

上: フェニックス、アルゼンチン中央: ベッセマーシティー、アメリカ下: Nemaska、ケベック、カナダ

当社のサステナビリティプログラム

Salar del Hombre Muerto、アルゼンチン

概要

GRI 102-13, GRI 205-1, GRI 206-1, GRI 412-2, UNSDG: 16

Liventではサステナビリティを将来の世代が明日のニーズを満たす能力や、地球の環境を維持する能力を損なうことなく責任を持って倫理的に今日の社会的ニーズを満たすことだと考えています。

Liventはよりクリーンなエネルギーへの移行と気候変動との戦いを可能にし、EVとバッテリーのサプライチェーンにおいて重要な役割を担っているため、サステナビリティはLiventのミッションの中心となります。

安全、倫理的、社会的配慮、そして持続可能な方法で事業運営する責任は、私たちが事業運営する上での基本的な義務であると考えています。そして、事業の存続に不可欠であると考えています。

私たちのコアバリューにはサステナビリティへのコミットメントが反映されています。サステナビリティは当社の投資および運営上のすべての決定において重要な検討事項です。
これは、環境、従業員、市場、サプライチェーン、地域社会への影響を管理するための基盤となります。

これを達成するために、Liventのサステナビリティプログラムは、環境、社会、ガバナンス（ESG）という3つの重点分野を持っています。

私たちのミッションとサステナビリティへの取り組みの最前線にいるのはLiventの従業員、つまり私たちの同僚です。Liventの社員に対するコミットメントには、専門的な成長とキャリア開発の機会、競争力のある給与と福利厚生、そして多様性を尊重し公正さと公平さを重んじる開かれた職場を含みます。

安全、倫理的、社会的配慮、そして持続可能な方法で事業運営する責任は、私たちが事業運営する上での基本的な義務であると考えています。そして、事業の存続に不可欠であると考えています。

また、社員が成功・成長できる職場環境を整えることで、地域社会に恩返しをしたい、前向きな変化を起こしたいという社員の気持ちをサポートします。私たちは、さまざまなサービス活動、支援活動、投資、慈善寄付などを通じて、世界中のコミュニティの向上を支援しています。

また、私たちには当社のポリシー、リソース、オペレーション手法、影響力を利用し、事業やサプライチェーン全体で社会の進歩と人権を促進する義務があると考えています。
Liventは国連グローバル・コンパクト（UNGC）のメンバーであり、人権、労働、環境、腐敗防止に関するUNGCの10原則を支持しています。

人権保護・促進のコミットメントの一環として 当社は厳しいサプライヤー選考と承認プロセスを実施しています。このプロセスでは、品質、安全、人権基準、およびサステナビリティを遵守しているかどうかについて、すべての新規重要請負業者および原材料サプライヤーを審査します。Liventは定期的な追跡調査と報告により、このプロセスを遵守しています。

最後に、サステナビリティへの取り組みの核として、私たちはリチウム業界における、サステナビリティのパフォーマンス、透明性、独立した検証の基準設定を支援することを決定しています。

Liventのシンガポールオフィスでは、2020年、恒例のホリデーパーティーを見送りました。その代わりとして、シンガポール中の困っている人のために食料を集める非営利団体のBoys' Brigadeの活動を支援しました。

2020年の主要な実績

2019年3月に完全に独立した直後、Liventはサステナビリティプログラムの新しい方向性を定めました。この新しい方向性は、リチウム企業としての当社の使命、そしてグリーンエネルギーへの移行を促進し気候変動と戦う者として、当社のミッションにおいてサステナビリティが中心であることをより反映したものでした。それ以来、当社の取り組みはお客様や独立した業界評価機関からも評価されており、EcoVadisからサステナビリティに関するゴールド評価（2020年）を受け、同業他社の上位3%にランクインしています。

2020年にはその他にも多くの需要な成果がありました。その中には、世界各地で記録に残る負傷者ゼロ、記録に残る流出・放出ゼロを達成したこと、初のグリーンボンド発行を成功させたこと、アルゼンチンで地域社会との連携プログラムを強化・拡大したこと、そして米国および世界各地で起きた人種差別や社会的不公正に対する抗議行動を受けて、グローバルなDE&Iの取り組みを強化したことが挙げられます。

2021年初頭には新たなサステナビリティ目標を発表し、さらに高い水準を目指しています。この目標は、2019年に設定したベースライン指標に基づいて設定されています。この新しい目標は、Liventのサステナビリティに関する今後の方向性を示すものです。

マテリアリティ

第三者サステナビリティアドバイザーの協力を得て、Liventのビジネスリスク・チャンスに応じたサステナビリティ戦略を策定するため、2019年半ばにマテリアリティ・アセスメントを実施しました。アセスメントを通じて、社内外の主要なステークホルダーや情報源から体系的に証拠を収集し、Liventの最も顕著なESGトピックを特定しました。アセスメント結果は継続的にモニター・管理すべき、Liventの最重要トピックを浮き彫りにしました。

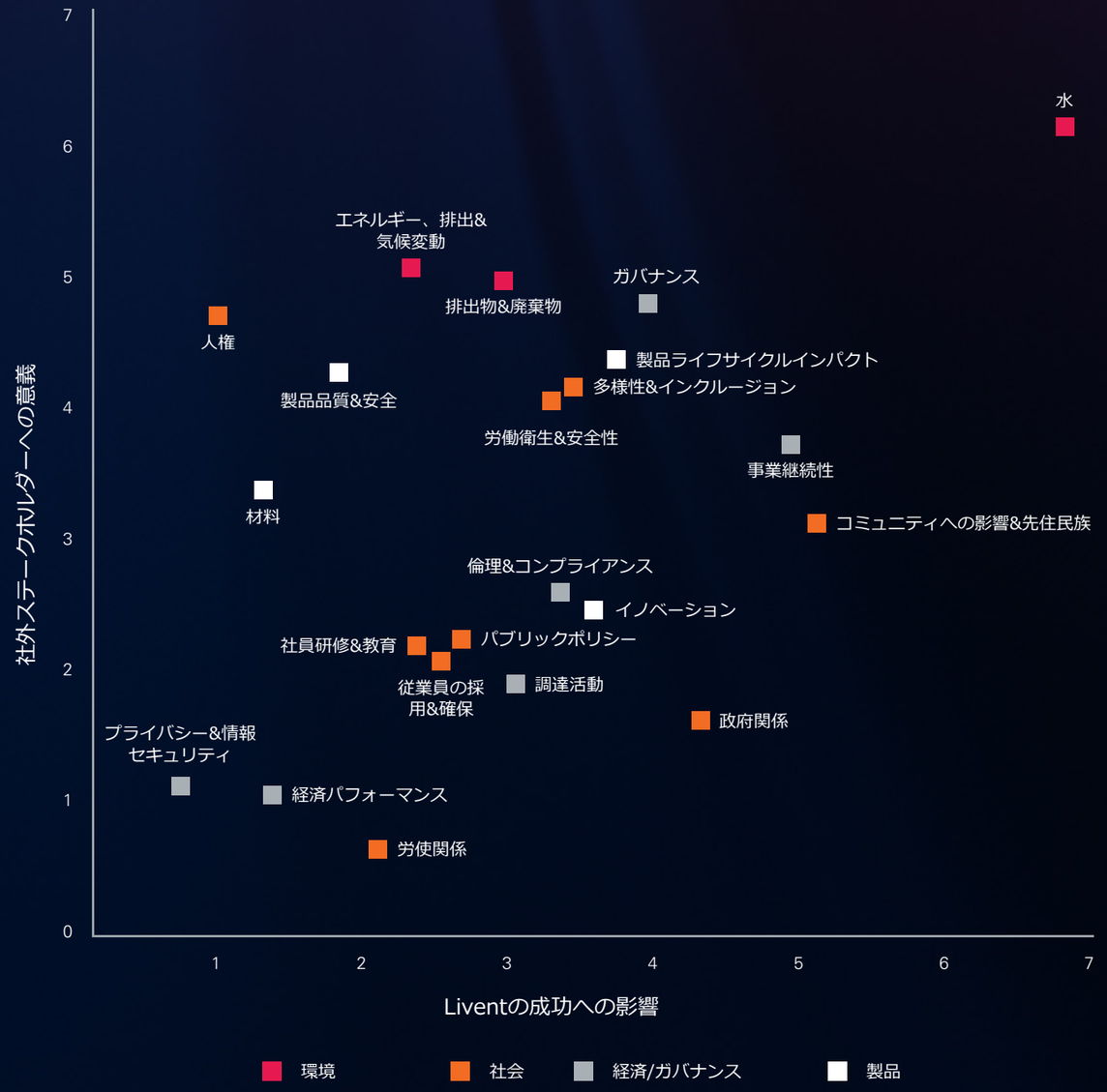
ステークホルダー

GRI 102-40, GRI 102-42, GRI 102-43

当社のサステナビリティプログラムは、ステークホルダーの皆様の優先事項と、当社が事業を行うあらゆる場所で責任ある事業者であるというコミットメントを反映しています。当社の主要なステークホルダーは以下の通りです（五十音順）：

- お客様
- コミュニティ
- サプライヤー &ビジネス
- 従業員
- 政府&規制当局
- 投資家

Liventの成功はステークホルダーとの強い関係性にかかっています。私たちはすべてのステークホルダーと頻繁に透明性の高い双方向コミュニケーションを行い、これらの重要な関係を強化するために意見やフィードバックに対してオープンです。
このレポートではステークホルダーの皆様を念頭に置き、各グループにとって特に重要なトピックに関する情報を提供しています。



ソース: Livent2019マテリアリティ評価

サステナビリティ・プログラム・ガバナンス

GRI 102-18

Liventの取締役会のサステナビリティ委員会は、当社のサステナビリティプログラムを監督しています。委員会は年に3回以上、サステナビリティプログラムのリーダーと会合を持ち、方向性、進捗状況、リスクと機会について話し合います。サステナビリティ委員会は、当社の環境コミットメント、安全目標、企業の社会的責任（CSR）、およびDE&Iイニシアチブにおけるガバナンスとパフォーマンスの両方を監督します。

Liventのチーフ・コミュニケーション・オフィサーとグローバル・パブリック・アフェアーズの責任者は、エグゼクティブ・リーダーシップ・チームのメンバーとともに、会社全体の他のビジネスリーダーやチームからの支援と積極的な関与を受けて、サステナビリティ・プログラムをリードしています。

2020年、当社のサステナビリティプログラムのリーダーは、サステナビリティ委員会に定期的に説明を行い、数回にわたって取締役会全体に進捗報告を行いました。

私たちは、サステナビリティを会社のガバナンス構造に組み込んでいることを誇りに思い、今後もこれらのシステムを強化していくことを期待しています。

マネジメントシステム&フレームワーク

GRI 403-1, GRI 102-54, GRI 102-56

当社のサステナビリティプログラムは、適用されるすべての法律や規制の遵守に加え、ISO 45001（労働安全衛生）、ISO 14001（環境）、ISO 26000（社会）、ISO 9001（品質）、国連SDGs（UN SDGs）など、主要なサステナビリティマネジメントシステムやフレームワークに基づいています。また、サステナビリティと品質が密接に関連していることを認識し、2021年後半までにIATF 16949（自動車品質規格）の認証取得を目指しています。当社の製品の多くは、化学物質の安全リスクから人の健康と環境を守るための欧州連合の規制であるREACH（化学物質の登録、評価、認可、制限）に対応しており、また、Brexit後の英国REACHにも間もなく対応する予定です。

当社のサステナビリティレポートと情報開示は、世界的なサステナビリティレポートのフレームワークであるGRIを活用しています。
また、サステナビリティ会計基準審議会（SASB）や気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の要求事項への対応も開始しています。当社のサステナビリティパフォーマンスをモニターする方法のひとつとして、ISO認証プロセスの一環として認定された第三者による定期的な監査に参加し、それを求めることがあります。

今年はERM CVSに依頼して、多くのグローバルなサステナビリティデータとデータ収集方法全体について独立したレビューを実施しました。これは、当社が参加している顧客による継続的な監査に加えて行われるものです。

当社のすべての製造拠点は、ISO 14001、45001、9001の認証を取得しています。

インド、Patancheruの仲間たち - 全国安全週間を祝って。

責任ある鉱業保証のための取り組み（IRMA）

GRI 102-13

2020年後半、LiventはIRMA（責任ある鉱業保証のための取り組み）に基づき、アルゼンチン事業に対して複数年にわたる認証プロセスの精査を開始しました。また、IRMAのメンバーになることを申請しました。

2021年2月、IRMAはLiventに「Pending Member」の地位を与えました。Liventはアルゼンチンの鉱山事業に対してIRMAの自己評価を開始した最初の企業であり、かつ、リチウム業界で最初の企業の一つです。メンバーシップコミットメントの一部として、Liventは責任ある採掘のために厳格で包括的なIRMA基準への準拠について、2022年3月までに独立した第三者検証監査を開始します。

BMWグループ、メルセデスベンツ、フォードなどの大手自動車メーカーの多くは、サプライチェーン全体でIRMA規格の採用を加速させる意向を公言しています。

気候変動リスク&機会

Liventは気候変動の現在および将来的なリスク・機会・影響を積極的に評価しています。

気候変動が当社の事業に与える潜在的な物理的影響はまだ不確かであり、当社が事業を行っている地域の地理的状況に固有のものです。これらには、降雨量、暴風雨のパターンと強度の変化、水不足、海面の変化、気温の変化などが含まれます。
また、温室効果ガス削減の取り組みを加速させるために、顧客や規制当局からの要求がさらに厳しくなる可能性もあります。現在、私たちは事業運営リスクをより詳細に特定・分析し、それらに対処するための計画を策定する準備を進めています。

その一方で、当社はEVや電池のサプライチェーンの重要な一員として、EVの普及と化石燃料からの転換を可能にするリチウム製品を提供しています。気候変動への関心の高まりとますます厳しくなる規制は、Liventに新たな、あるいは拡大するビジネスチャンスをもたらすかもしれません。実際、世界の主要国の政府による脱炭素政策は、目先の補助金やインセンティブにとどまらず、将来の経済のあり方を根本的に変えるものです。

グリーンボンド

GRI 102-45

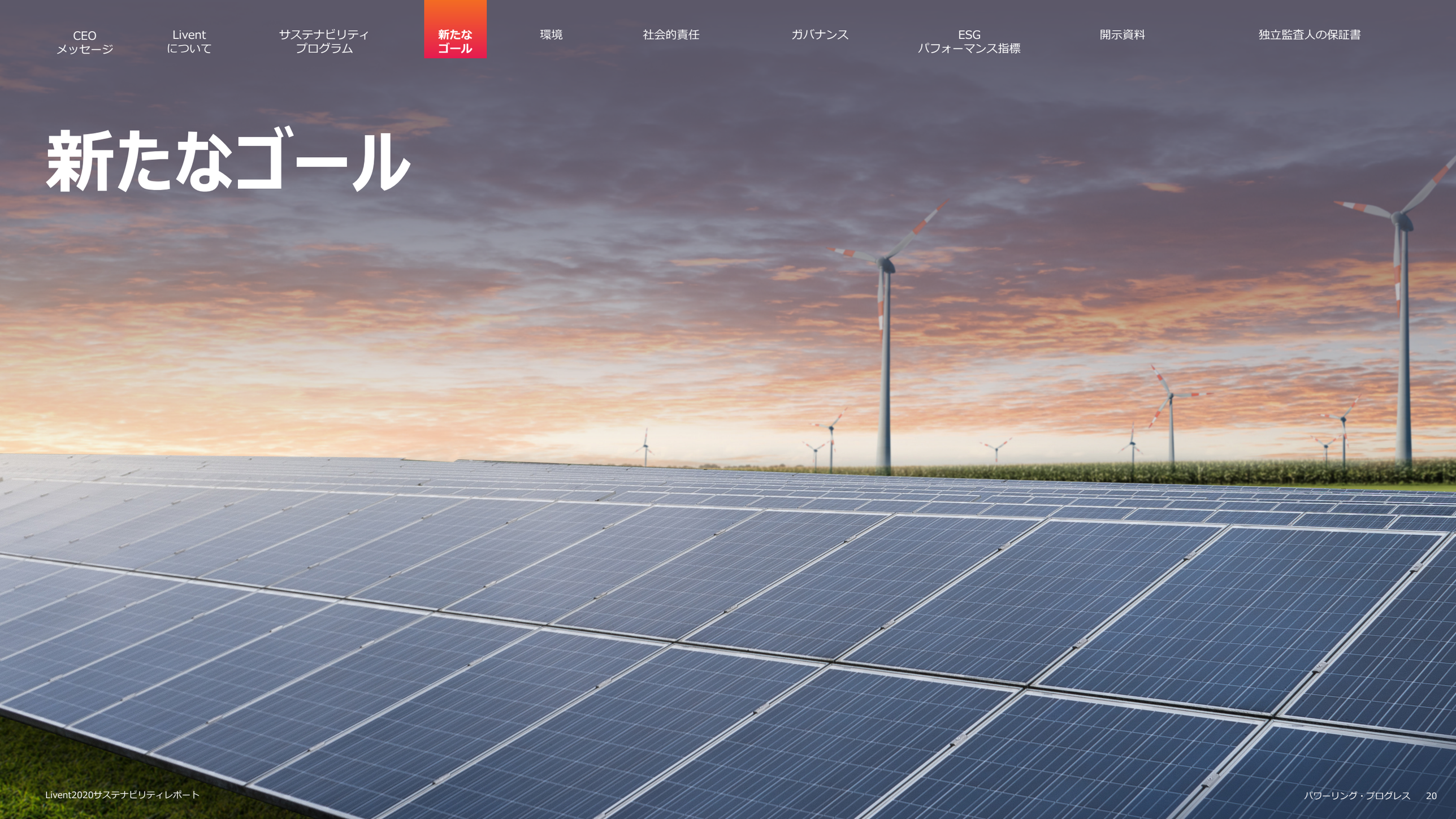
2020年6月、Liventは最初のグリーンボンドファイナンスを発行しましたが、これは国際資本市場協会（ICMA）のグリーンボンド原則に沿ったLivent独自のグリーンボンドフレームワークと、セカンドパーティの意見書を含むものでした。これは会社にとって重要なマイルストーンでした。これにより、多くのESG重視の投資家を含むより様々な新たな投資家と、当社のストーリーとサステナビリティへの証明を共有することができました。また、お客様には当社の長期的な視点とサステナビリティへの献身について強いメッセージを発信しました。

2021年3月、Liventはグリーンボンドの2020年アロケーション&インパクトレポートを発表しました。このレポートは livent.com の Investor Relationsセクションで、KPMGによる独立した会計監査人の報告書とともにご覧いただけます。

ZETA

私たちの電動化への移行を加速させるというコミットメントを示すものとして、Liventは米国で2030年までに販売される車両の100%をEVにすることを提唱している業界団体「ZETA（Zero Emission Transportation Association）」に加盟しました。

新たなゴール



成功を積み重ね、さらに高い水準へ

2021年初頭、私たちは新しい長期的なサステナビリティ目標を発表し、これまでのサステナビリティ目標を5年前倒しで達成しました。

当社の新たなゴールは単独で設定されたものではありません。これらはLiventのお客様、コミュニティ、投資家、従業員、その他のステークホルダーとの広範で継続的な対話に基づいて、彼らの優先事項を反映しています。これらをまとめると、大胆で幅広いアジェンダとなります。多くの目標を達成することは容易ではありません。しかし、これらの目標にコミットすることは必要であり、Liventはこのような大胆なプラットフォームを追求する実績と信頼性があると信じています。当社の成功は、当社がこれまでの歴史の中で行ってきたように革新的なソリューションを開発し、それを適切な財務投資とリソースの投入によって長期的にサポートする能力にかかっています。

この新しい目標は、Liventのサステナビリティに関する今後の方向性を示すもので、2019年のベースライン指標に基づいて設定されました。私たちの目標は右記のようにまとめられています。

環境影響

- 2040年までに全体的なカーボンニュートラルを達成する（Scope 1, 2 & 3）。

GRI 305-1, GRI 305-2, GRI 305-3, SASB: EM-MM-110a.1,TCFD: 指標&目標、**UNSDG13**

- 2030年までに、Liventの事業全体で温室効果ガス（GHG）インテンシティを30%削減する。

GRI 305-4, GRI 305-5, SASB: EM-MM-110a.2,TCFD: リスクマネジメント、UNSDG: 13

- 2030年までに会社のエネルギーミックスの30%を再生可能エネルギーに移行し、再生可能エネルギー100%への道を歩み始める。

GRI 302-1, GRI 302-4, SASB:TR-AP-130a.1, SASB: RT-EE-130a.1, SASB: EM-MM-130a.1,TCFD: 指標&目標、UNSDG7

- 2030年までにLiventの事業全体で水のインテンシティを10%から30%削減し、アルゼンチンのSalar del Hombre Muertoとその周辺地域で持続可能な水の利用、責任ある事業運営、生物多様性のための協力的な取り組みを継続的にリードする。

GRI 303-1, UNSDG: 14

- 2030年までにLiventの事業全体で廃棄物処理インテンシティを30%削減する。
- 2022年までに研究開発費の大部分を、環境に配慮した技術、プロセス、製品の開発または支援に充てる。
- 2022年までにゼロエミッション輸送とリチウム電池のリサイクルを推進する業界のイニシアティブへの参加を正式に決定する。

アルゼンチンのSalar del Hombre Muerto付近の地表流でサンプルを採取する生物多様性研究者/テスター。

Liventの役員や同僚。2020年1月にアルゼンチンのフェニックスにて、世界的なパンデミック宣言の前に撮影。

社会的責任

- 地域社会への投資（時間と資金の両方）、先住民との関係の質を含む地域住民の雇用と影響アセスメントによって評価されるように、Liventの地域社会を高め、支援することに引き続き注力する。
- すべての主要な環境・健康・安全（EHS）指標の改善を継続する。記録可能な総事故率（TRIR）を0.1以下にする。
- 2021年からLiventのサプライヤー行動規範と責任ある労働慣行の遵守を、サプライヤーの選定・モニタリング・パフォーマンスに関する様々なKPIに照らして検証し、実施する。
- 国連グローバル・コンパクトのメンバーとして、2030年のUNSGDsに対する取り組みを維持する。
- Liventが事業を展開する地域を反映した、人材の多様性のレベルを目指します。
- 賃金の公平性を促進するための報酬構造とプロセスを維持する。
- Liventの従業員のため包括的で前向きな職場環境を育む。

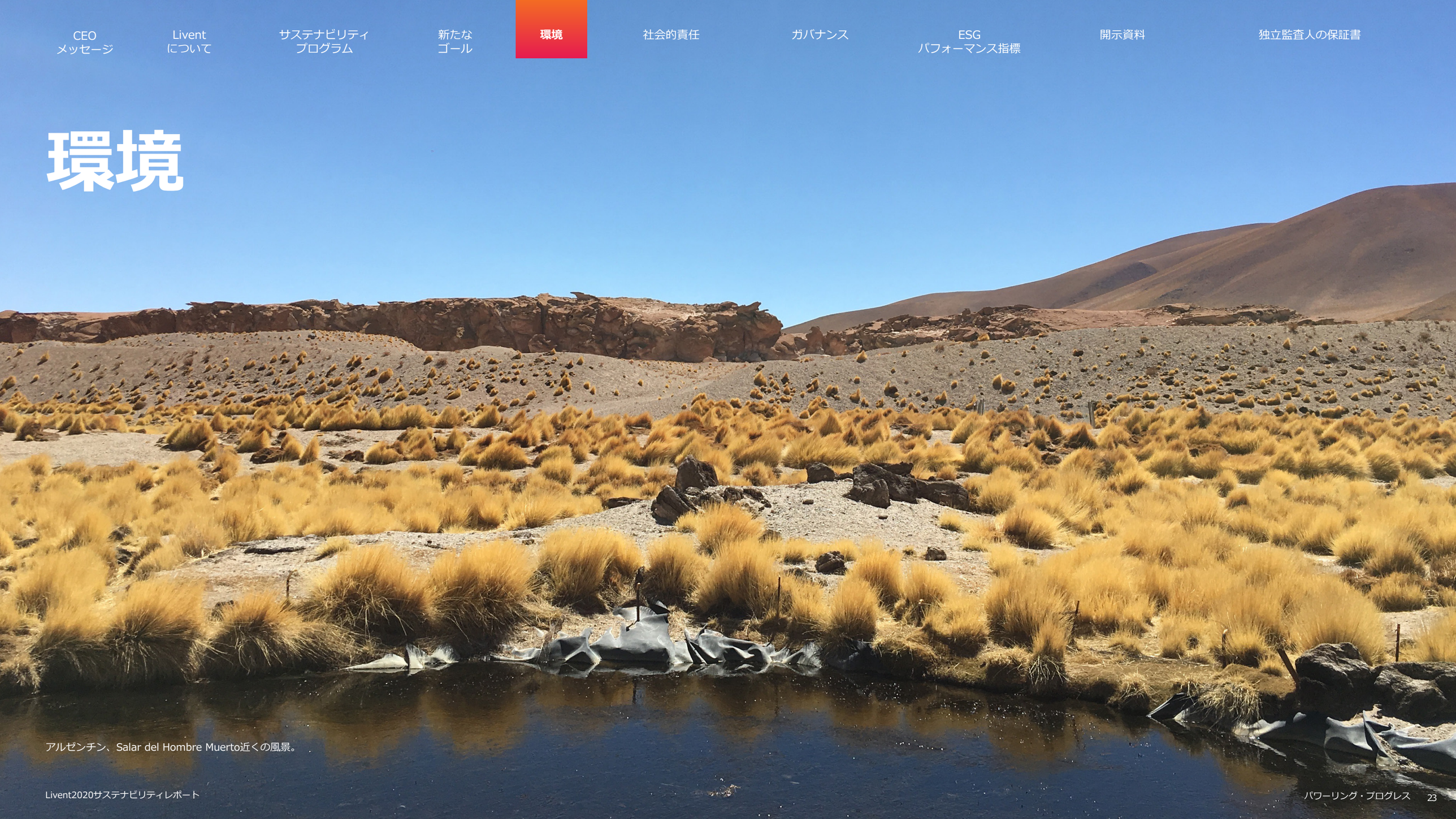
透明性

- 主要な報告フレームワークの要件に従って、年次サステナビリティレポートの発行を継続する。
- 2025年までに戦略的製品についてISOに準拠したライフサイクルアセスメント（LCA）を完了する。
- 品質・環境・安全衛生（EHS）・社会マネジメント・エネルギーマネジメントに関する、主要なISOマネジメントシステムのグローバル認証を維持・拡大する。

GRI 403-1

- 2021年からLiventのサステナビリティデータおよびデータ収集方法について、定期的に第三者保証を実施する。
- 2021年からSalar del Hombre Muertoでのオペレーションが環境/社会に与える影響に関する学術的な調査研究に参加する。
- 2021年から、責任ある採掘と製造のための世界基準を独自に検証し設定している主要な組織との関わりを持つ。

環境



アルゼンチン、Salar del Hombre Muerto近くの風景。

環境マネジメント

環境への責任ある管理は、私たちの活動に不可欠です。私たちは天然資源を保護するために、システムの効率を向上させる方法を常に模索しています。
また、周辺地域や環境を守るために、排出物や廃棄物を注意深く監視しています。 私たちのサステナビリティポリシーは（ livent.comでご覧いただけます）、事業活動による環境への影響を管理するため、全社的な基準を設定します。

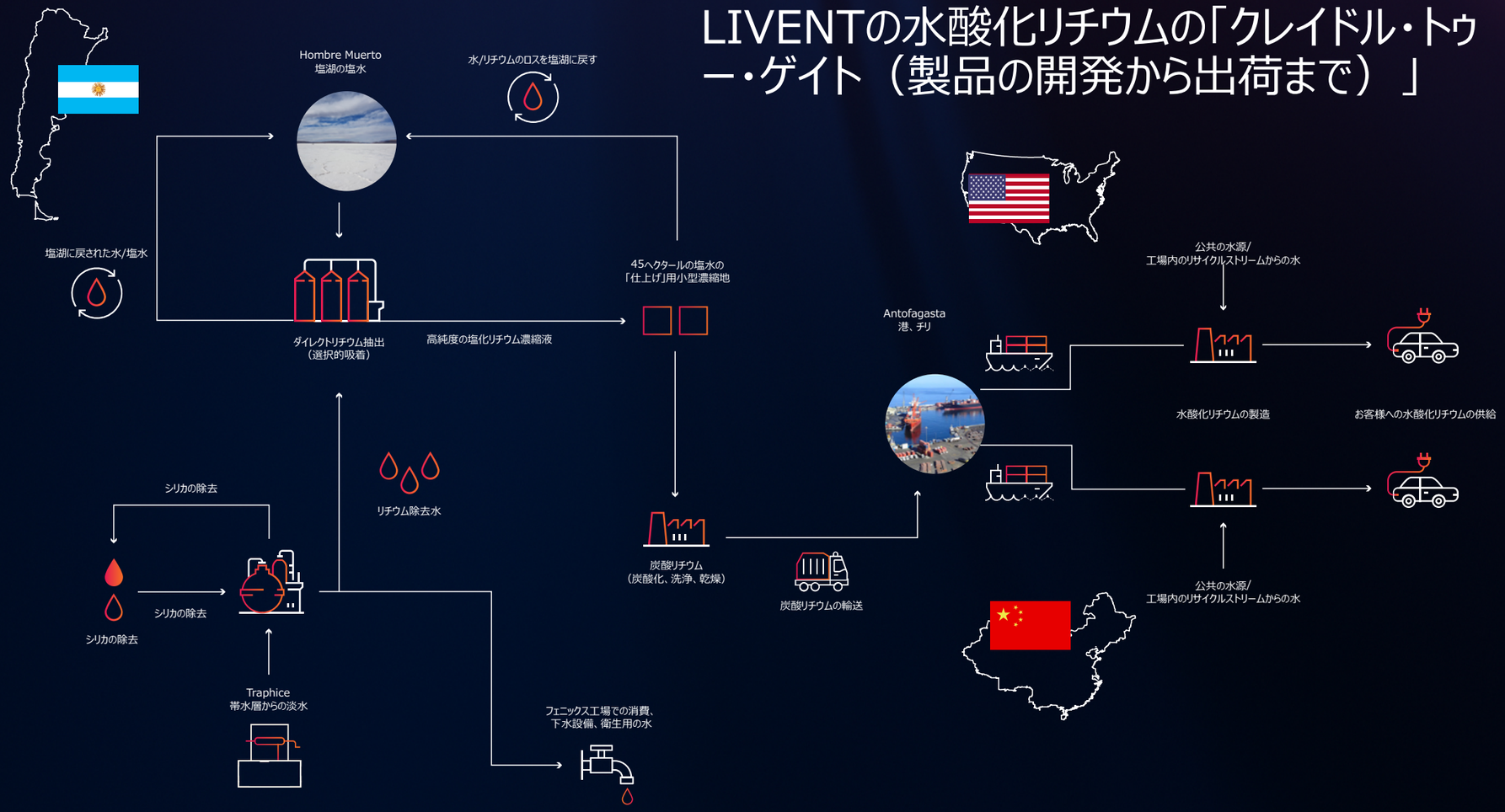
Liventの水酸化リチウムのライフサイクルアセスメント（LCA）

2019年後半、Liventの水酸化リチウム製品の「クレイドル・トゥー・ゲイト(製品の開発から出荷まで」のライフサイクルアセスメントを開始しました。抽出からお客様にお届けできる完成品までの環境影響を調べています。このプロジェクトは、当社の主要製品の生産プロセスにおける改善点を特定し、対処するための重要な第一歩となりました。

右の図は当社の水酸化リチウム製造プロセスにおける「クレイドル・トゥー・ゲイト(製品の開発から出荷まで)」を示しています。このプロセスはLiventの製造拠点と調達拠点のみに依存し、端から端まで垂直に統合されています。また、従来の塩水ベースのリチウム抽出プロセスやハードロックプロセスとは異なる独自のDLEプロセスを使用しています。

アルゼンチンのブライン資源からほぼすべてのリチウムを抽出し、アルゼンチンで炭酸リチウム製品を製造しています。炭酸リチウムの多くは水酸化リチウムに変換するため、アメリカと中国の製造工場に輸送されます。

LIVENTの水酸化リチウムの「クレイドル・トゥー・ゲイト（製品の開発から出荷まで）」



CO_2e Liventの炭酸リチウムと水酸化リチウムのフットプリント

下の表は当社の炭酸リチウムおよび水酸化リチウム製品の2020年のカーボンフットプリントを示しています（スコープ1および2）。このデータはISO 14040とISO 14044に記載されている原則と方法に沿った2019年のLCA研究の結果、およびLiventの最新の社内推定値を使用しています。
Liventの社内推定値は、一部の主要な顧客によるデータの独立した分析結果とも一致しています。

これら2つの製品の2020年のCO_2eのデータには、購入したカーボンオフセットによる削減量は含まれていません（Livent全体の温室効果ガスの数値に適用されている）。

中国ルート（アルゼンチン～中国、Rugao）で生産される水酸化リチウムのCO_2eのフットプリントは、米国ルート（アルゼンチン～米国・ノースカロライナ）で生産される水酸化リチウムのフットプリントよりも高くなっています。これは主にRugao工業団地の自治体のエネルギー供給会社から購入している電気と蒸気の特性によるものです。

炭酸リチウムおよび水酸化リチウム製品のCO_2eのフットプリントは、再生可能エネルギーへの様々な投資とLiventの継続的なプロセス改善により、今後数年間で減少すると予想しています。また、地域のエネルギー生産者に対してエネルギーミックスの改善を求める規制や顧客からのプレッシャーも効果があると考えています。

2020年 CO_2eフットプリント（近似値）ースコープ1&2*

GRI 305-1, GRI 305-2, SASB: EM-MM-110a.1,TCFD: 指標&目標、UNSDG13

Livent製品	生産国またはルート	CO_2eフットプリント (製品1トン当たりのトン)
炭酸リチウム	アルゼンチン	3.5
水酸化リチウム	アメリカ	2.0
	中国	5.0
水酸化リチウムの「クレイドル・トゥー・ゲイト（製品の開発から出荷まで）」	アルゼンチンからアメリカへのルート	5.5
	アルゼンチンから中国へのルート	8.5

*これら2つの製品の2020年のCO_2eのデータには、購入したカーボンオフセットによる削減量は含まれていません（Livent全体の温室効果ガスの数値に適用されている）。

持続可能な水の使用

GRI 303-1, UNSDG: 14

Liventはきれいな水が人と生態系の両方にとっていかに重要であるかを認識しています。私たちは水へのアクセスを人権と考えています。私たちは水の使用に関するすべての規制を遵守し、事業をサポートするために適切な水の許可を得ることを約束しています。

水の責任ある管理は当社のすべての施設で重要ですが、アルゼンチンでの事業においては特に重要です。当社は世界で最も純度が高く信頼性の高いリチウムの供給源のひとつであるアルゼンチンのSalar del Hombre Muertoの塩水鉱床からリチウムを抽出しています。

Salar del Hombre Muertoは標高の高い乾燥地帯にありますが、広大な流域によって供給される自己完結型の流域にあります。毎年、約2億1千万立方メートルの大量の淡水がアンデス山脈の高地からの流入し、また、程度は低いものの隣接地域での直接降水によって流域に流入します。同じ量の水が蒸発と植物の蒸散によって毎年流域から出て行き、Salarでは自然の均衡が保たれています。Liventは流域に流入する2億1千万立方メートルの水の2.0%以下しか遮断しません。

Salar del Hombre Muerto、アルゼンチン

抽出プロセス

GRI 306-1, GRI 306-5, UNSDG: 12、14

塩水からリチウムを抽出するために、私たちは独自の選択的吸着（SA）と呼ばれるDLEプロセスを用いて淡水を取り込み、塩水からリチウムを分離します。水はDLEプロセスの重要な原料であり、当社のSA技術は濃縮プロセスを高速化し、従来の塩水ベースのリチウム生産者が使用していた大型の濃縮前蒸発池の必要性を低下させました。大規模な予備濃縮池に依存しないことで、大量の地下塩水を18～24ヶ月間にわたって風雨にさらすことで、Salarの自然な蒸発損失率を高めることはありません。またLiventのプロセスでは溶剤や有害化学物質を環境に持ち込んだり、使用済み塩水のpHを変更することなく、使用済み塩水/水の大部分を周囲のSalar生息地に戻すことができます。

従来の池の弦は広い土地面積を必要とし、地域の生態系からの水の蒸発損失を増加させる可能性があります。Liventの物理的な設置面積は従来の塩水を使ったリチウム生産者よりも大幅に少ないです。今後数年の間に、比較的少数しか残っていない蒸発池を廃止することで全体的な土地使用量を減らしていく予定です。

水の使用

GRI 303-1, GRI 303-3, GRI 303-2, GRI 303-4, GRI 303-5, SASB: TC-ES-140a.1, SASB: EM-MM-140a.1, UNSDG: 14

現在のアルゼンチンでの生産ではTrapiche帯水層の水を使用しています。当社は水資源を持続的に利用するために、水流・化学物質の輸送・塩分などのパラメータを管理・記録する包括的なアプローチを活用しています。社内の専門知識に加えて、Liventは地質会社と長期的な協力関係にあり、淡水帯水層と塩水層の両方のモデリングを行っています。このモデリングにより塩水や水を持続可能な速度で汲み上げることができ、Salarの自然な平衡を妨げることはありません。

私たちのプロセスでは使用した塩水の大部分を、汚染物質や溶剤を含まずに、かつ塩水のpHを変えずにSalarに戻しています。また、私たちのプロセスはSalar流域の自然な蒸発速度を増加させないため、地域の生態系への全体的な影響を最小限に抑えることができます。私たちは20年以上にわたってアルゼンチン政府と緊密に協力しており、持続可能な水利用を実現し、環境への影響を最小限に抑えるためのSalar/水文地質モデルを持っています。当社は20年以上にわたってSalarで操業してきしたが、塩水や水の減少に寄与したことはありません。Salarでは直接降水量がほとんどないにもかかわらず、アンデス山脈の高地からの流入を中心に、毎年2億1千万立方メートルの水が「閉ざされた」Salarの流域に流れ込んでいます。Liventが遮断するのは、この非常に大きな年間水量の2%未満です。
Salarの総流域面積（3,900立方km）は、アメリカのロードアイランド州よりも大きいのです。

予備濃縮地、Salar del Hombre Muerto、アルゼンチン。

リチウム水の研究をリードする学術研究チーム。パンデミック宣言前に撮影されました。アラスカ大学Anchorageとマサチューセッツ大学Amherst©。

アルゼンチンでの事業拡大に伴い、将来の影響を最小限に抑えるために第三者の地質会社と緊密に協力していきます。私たちは事業拡大のために第二の水源であるLos Patos川を利用することを計画しています。これによりTrapiche帯水層への依存度を下げることができます。この2つの水源にはすでに監視用の井戸を設置し、水位・補充率・水の化学的性質を把握することで、持続可能な水の利用に役立てています。また、Catamarca州政府は独立した第三者機関の協力を得て、現在の当社の水資源の使用と拡張計画について広範な環境調査を行いました。

リチウム水研究のコラボレーション

Liventはアラスカ大学Anchorage校とマサチューセッツ大学Amherst校が主導する、リチウム採掘が地域の水資源と周辺の生態系に与える影響を調査する地水学的研究に参加しています。この研究はBMWグループとBASFがスポンサーとなっています。研究の目的は、淡水とリチウム塩水帯水層の関係を科学的に理解し、さまざまな技術やプロセスを評価して、持続可能なリチウム採掘への洞察を深めることにあります。

生物多様性

Liventのすべての事業所では水の管理活動に加えて、事業が周辺の生物多様性に与える影響を最小限に抑えるよう努めています。Fénixの当社生産施設は、海抜約2.5マイル（4,200m）のSalar del Hombre Muertoに位置しており、生物多様性の管理に独自のアプローチを必要とします。この山の生態系には、極端な環境条件での生活に適応した多様な動植物が生息しています。アルゼンチンの工場では既存の生態系を保護するために、第三者の専門家による調査を定期的に実施し、地域の植物や動物の種の多様性と豊富さ、流域の特性、陸水学をモニターしています。2017年に実施した調査では、植物種の多様性と豊富さは以前の調査と同じでしたが、動物種は2009年の基準と比較して9種の鳥類が増加していました。2020年に行われたより最近の調査では、動物の生物多様性に大きな変化は見られませんでした。また2020年の調査では植物の生物多様性の変化は人為的な活動への反応ではなく、環境や季節的な要因に対する自然の適応の結果であることが示唆されました。最後に、2020年の調査の陸水学の項目では、観察された種の多様性と大型脊椎動物や植物プランクトンなどの河川生物の豊富さ、歴史的に記録されている生物多様性のレベルと一致していることがわかりました。

ノースカロライナ州のベッセマーシティでも同じような傾向が見られます。ここでは、22エーカーの人工的で均等化された池がオジロジカ・七面鳥・ミサゴ・コヨーテ・ビーバーなど豊富な野生動物の生息地として繁栄しています。また、池にはコイ・ナマズ・バス・鯛など数種類の魚が生息しています。当社の従業員は運動やリラックスのために池に続く遊歩道を利用していますが、これまでに灰色のサギ・白鷺・鵜・キクイタダキなど数種の水鳥を見たと報告しています。渡り鳥の季節には、多種類のカモやガチョウも池を休息場所として利用します。私たちのベッセマーシティサイトは、このようにバックドアには野生動物がずらりといることを誇りに思っており、化学製品の製造が野生の隣人と共存できることを示しています。

左上および右上：アメリカのベッセマーシティにあるオンサイトの人工的な調整池―様々な野生生物の生息地として繁栄している。Tim Williams©。
左下および右下：生物多様性研究者、Salar del Hombre Hombre（アルゼンチン）とその周辺地域

フェニックス、アルゼンチン

運用面の影響

サステナビリティへの取り組みの一環として、当社は世界中のすべての製造施設において、エネルギー使用量・温室効果ガス排出量・水使用量・廃棄物処理量を積極的に監視・管理しています。
ここ数年の成長に伴い、当社は環境影響と資源消費量の大幅な削減を進めながら生産能力の増強に注力してきました。

新たに全社的なサステナビリティパフォーマンス目標を掲げ、各拠点で固有のプログラムを推進し、各地域の施設で進捗を継続することを目指しています。

2020年、当社のエネルギーインテンシティは2019年の新基準値から6%増加しました（製品1トン当たり）。これは主にCOVID関連のシャットダウンにより、アルゼンチン事業の製品生産量が減少したことによるものです。生産量が減少しても、製造拠点が休止している間にベースラインのエネルギー使用量を維持する必要がありました。

温室効果ガスインテンシティはエネルギーインテンシティとほぼ連動していますが、2020年の温室効果ガスインテンシティを2019年の新基準値から15%減少させることができました。この減少は2020年に大規模な再生可能エネルギー/風力発電プロジェクトに投資することで得られる20,833トンのカーボンオフセットを反映しています。

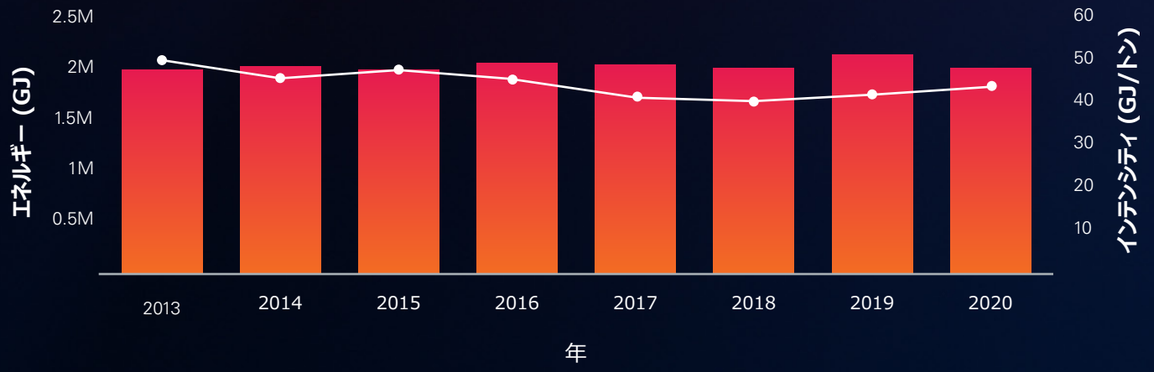
廃棄物処理量は2020年も減少傾向にあり、2019年の新基準値に対して10%減少しました。この減少はベッセマーシティの事業所で水酸化リチウムの廃棄物を削減する取り組みを主に反映しています。

最後に、2020年の水インテンシティは2019年の新基準値に対して14%増加しました。エネルギーインテンシティと同様、製品1トン当たりの水インテンシティ増加はアルゼンチンでのCOVID関連の操業停止による生産量の減少と、製造拠点が休止していても操業維持のために水を使い続ける必要があったことによるものです。

ここ数年の成長に伴い、当社は環境影響と資源消費量の大幅な削減を進めながら生産能力の増強に注力してきました。

エネルギーインテンシティ

GRI 302-3, TCFD: 指標&目標、UNSDG7

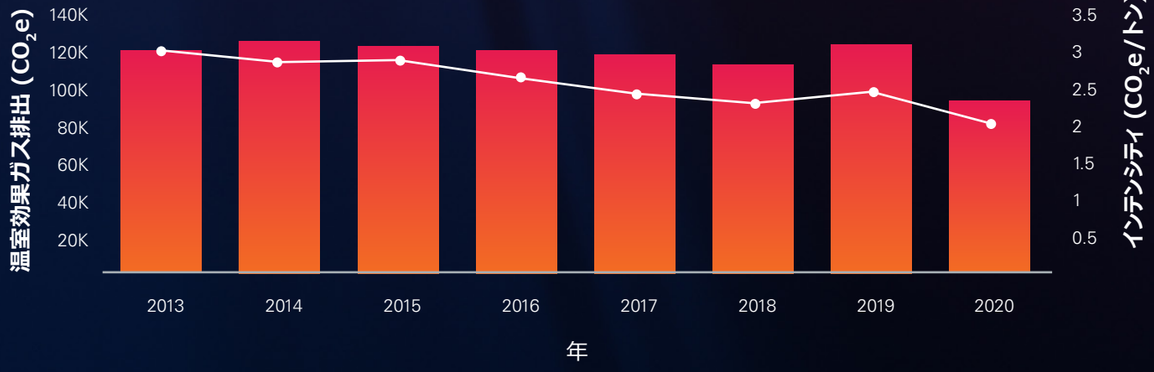


エネルギー (GJ)
インテンシティ (GJ/トン)

2013年のベースラインから11%減少
2019年のベースラインから6%増加

温室効果ガスインテンシティ*

GRI 302-3, TCFD: 指標&目標、UNSDG7



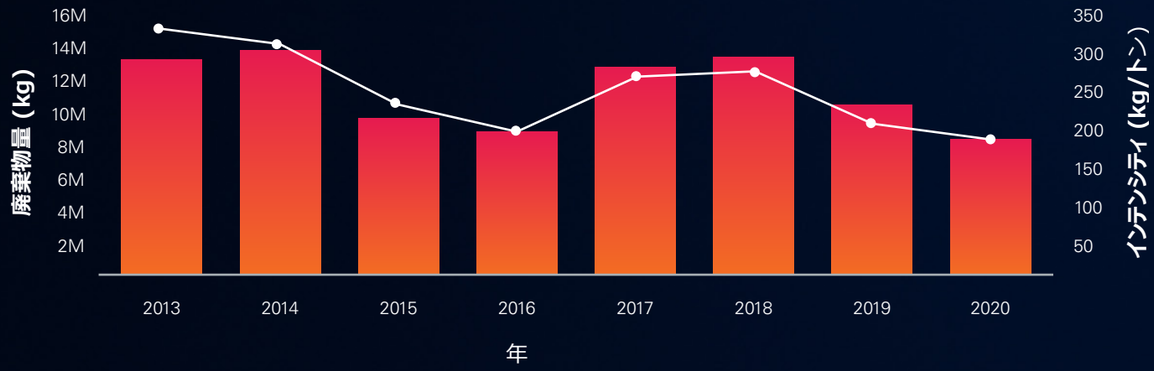
温室効果ガス排出 (CO_2e)
インテンシティ (CO_2e/トン)

2013年のベースラインから33%減少
2019年の新たなベースラインから15%増加

*2020年に大規模な再生可能エネルギー/風力発電プロジェクトに投資することで得られた20,833トンのカーボンオフセットを反映しています。

廃棄物量インテンシティ

GRI 306-2, SASB: TC-ES-150a.1, UNSDG: 12

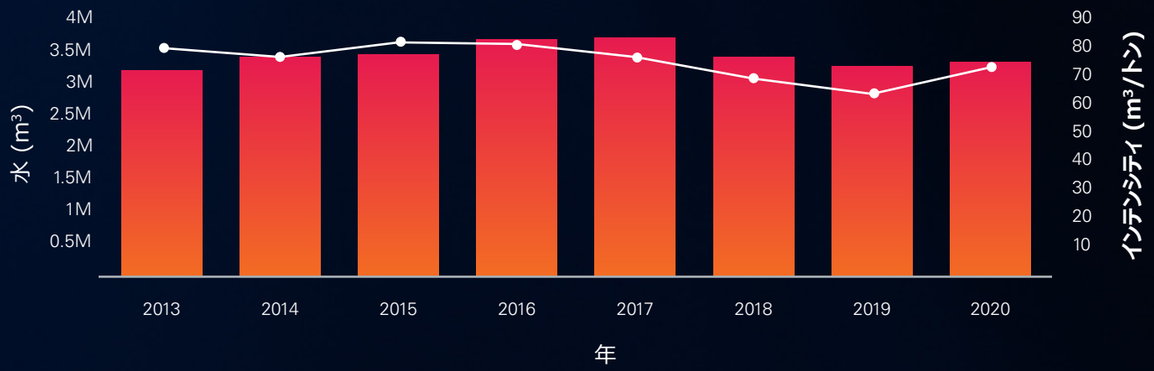


廃棄物量 (kg)
インテンシティ (kg/トン)

2013年のベースラインから44%減少
2019年の新たなベースラインから10%減少

水インテンシティ

GRI 306-2, SASB: TC-ES-150a.1, UNSDG: 12



水 (m^3)
インテンシティ (m^3/トン)

2019年の新たなベースラインから14%増加

社会的責任

カタマルカ、アルゼンチンにおけるコミュニティプロジェクト

はじめに

私たちは社会的責任を私たちの価値観と実践に組み込むための指針として、ISO 26000の枠組みを利用しています。社会的責任の一環として、労働安全衛生・職場環境・公正で倫理的な労働と事業慣行・従業員の雇用と育成・DE&Iの取り組み・消費者の権利・人権（先住民の権利を含む）・責任ある調達・コミュニティへの参加と育成など、多くの問題に取り組んでいます。

労働衛生および安全性

GRI 306-3, GRI 403-1, GRI 403-2, GRI 403-4, GRI 403-9, GRI 403-10, SASB: RT-EE-150a.2, SASB: TC-ES-320a.1, UNSDG: 14

安全はLiventのコアバリューです。Liventでは従業員の行動やお客様がリチウム製品をどのように取り扱うかについて、安全性が何よりも優先されます。
私たちは従業員、お客様、地域社会、そして環境の安全性に確固たる焦点を当てています。製品スチュワードシップとは、Liventが製造するすべての製品のライフサイクルにおける健康と安全への影響を軽減するためのコミットメントです。私たちは安全な取り扱いガイドを、フィールドでの採掘作業から製造施設でのエンドユーザーに至るまで、プロセスのあらゆるステップで提供しています。

私たちは職場のリスクを特定して対処するために、法律で要求されている以上のことを積極的に行っています。3人以上の従業員が集まる会議では、まず安全共有（安全に関する最重要課題についての簡単な話し合い）を行い、「安全第一」の価値観を強化しています。グローバルレベルでは最高業務・技術責任者をはじめとするシニアリーダーから「安全・品質・信頼性」に関するメッセージを毎週全社に配信しています。

2020年の実績は私たちの安全に対するコミットメントを示すものです。昨年は、記録可能な怪我・流出・放出が世界中でゼロでした。これはどの年であっても素晴らしい結果ですが、COVID-19のパンデミックによる混乱と課題を考えるとなおさらです。私たちは、従業員と彼らが自らの手で安全を確保して行動していることを誇りに思います。

Liventの環境・健康・安全（EHS） ポリシー は当社のすべての拠点に適用されています。EHSのグローバル責任者は当社の安全基準が一貫して実施されていることを監督し、従業員がEHSポリシーの趣旨を十分に理解し、実践できるようにしています。さらに、EHSチームはLiventのすべての施設における健康・安全に関するデータを定期的に見直し、傾向を評価し、是正措置を講じています。

Liventのすべての製造拠点はISO 14001（環境）およびISO 45001（労働安全衛生）の認証を取得しており、2021年にEHSマネジメントシステムのグローバル認証を取得することを目指しています。

COVID-19パンデミック対応と事業継続性

GRI 403-3

当社のビジネスのグローバルな性質とお客様の所在地により、当社のバリューチェーンは地理的に分散しています。Liventがお客様のニーズに確実に応えることができるように、グローバルな危機管理計画に加えて、サイトごとの継続計画を策定し、継続的に更新しています。COVID-19の世界的な広がりを受けて、2020年2月から段階的に事業継続計画を作動させました。

このパンデミックを乗り切ることができたのは、世界中に配置された強力で献身的なチームのおかげです。Liventは中国、そして広くアジアで事業を展開していることから、2020年2月初旬からコロナウイルスの発生に対処しており、地域のパンデミック対応チームを結成し、従業員の安全を守るために様々な行動を実施しました。早期に断固とした措置を講じ、状況を真摯に監視することで、旧正月の長期休暇明けに中国での事業を安全に再開することができました。また、中国以外の地域でも、必要性が明らかになった時点で自信を持って迅速に対応することができました。その後、中国では大きな問題もなく運営することができました。中国の省庁間の国境を越えて人や製品を移動させるという物流上の大きな課題があった期間でも、当社のグローバルなサプライチェーンを活用して、お客様への製品配送の混乱を最小限に抑えるとともに、コストを管理することができました。

Zhangjiagang、中国の同僚たち。

2020年はパンデミックにもかかわらず、世界中で記録可能な人的被害・放出・流出のゼロを達成しました。

左上: ベッセマーシティ（アメリカ）にあるCOVIDワクチン配布クリニック。右上: Fénix、アルゼンチンの同僚たち。
下: Patancheru、インドの同僚たち。

アジアでの経験を生かし、ウイルスの世界的な広がりと深刻さが明らかになった2020年3月初旬、Liventはグローバル・パンデミック対応チームを迅速に結成しました。すべての出張を中止し、訪問者を制限し、必要性のない従業員には自宅勤務を義務付けるなど、早期に断固とした行動をとりました。それ以来、私たちの最優先事項は、世界中の従業員、お客様、地域社会の安全と幸福であり続けています。

当社が製造しているリチウム製品の多くは、エネルギー貯蔵だけでなく世界的に前例がないほど需要が高まっている製薬原料や工業用殺菌剤から、人工呼吸器・ネブライザー・病院用チューブ・酸素供給システムなど医療機器に使用される部品まで、重要な用途に不可欠なものです。実際Liventインド（BuLi Chemicals）は、パンデミックの間、ブチルリチウムを提供しインド最大のバイオ医薬品企業であるBioconがさまざまな救命薬を生産し続けることを可能にしたことで、Bioconから2020年の著名なベンダーとして認められました。

Liventはサイト毎に厳格な手順を開発・導入しました。これには、訪問者や医療関係者のスクリーニング、体温チェック、重要人物の指定、交代制勤務、マスク着用、社会的距離を置く措置などが含まれます。

工場の従業員が現場で働き続けられるように、私たちは出社が必須となる従業員に特別な柔軟性と予防的保護を提供しました。リモートで学ぶ学生の親や、病気の家族の世話をしている人など、従業員のスケジュールを調整しました。また、適切な個人用保護具（PPE）の提供、適切な社会的距離の取り方の徹底、推奨されている健康プロトコルの遵守などの保護措置を講じました。

アルゼンチン全土で検疫が行われた際、州政府および連邦政府と協力したことも、Liventの準備態勢と責任ある運営への取り組みを反映しています。私たちはアルゼンチン政府と緊密に協力して、強制的な全国検疫の後、わずか2週間のダウンタイムで地域業務を再開するための実用的な一連のプロトコルを開発・管理しました。

また、今回のパンデミックを機に従業員や地域社会との関わりを深め支援を行いました。従業員に対しては、雇用の維持と給与や福利厚生の提供、柔軟な人員配置やスケジュールの調整（家族の病気療養やリモートで学ぶ子どもの世話など）、従業員とその家族のためにメンタルヘルスなどのサポートサービスを提供、Microsoft Teamsなどのバーチャルミーティングツールをいち早く導入し社員同士のつながりを大切にしました。

また、イギリスでのPPEの寄贈、アルゼンチンでの救急サービス・必須の航空輸送の提供など、地域社会を支援する立場にあることにも感謝しています。
そして2021年3月にはノースカロライナ州のコミュニティと提携しサービスを提供する機会を得ました。Livent、Kintegra Health、ベッセマーシティが協力して、Liventの大きな駐車場の一つで無料のドライブスルーによるCOVID-19ワクチン接種クリニックを開催しました。
このワクチン接種は65歳以上の方、第一線で働く方、基礎疾患のある方を対象に行われました。

社員のエンゲージメント&育成

従業員はLiventの最も貴重な資産です。私たちのビジネスの性質上、研究者・エンジニア・テクニカルセールスフォースを雇用・維持・育成・従事させる必要があります。

グローバル社員調査

2020年後半、Liventは独立企業として最初のグローバル社員体験調査を実施しました。従業員はLiventが素晴らしい職場であり、強い帰属意識と尊敬の念を感じていると述べています。私たちの課題は、従業員が高いレベルのエンゲージメントを維持できるように、この感情をさらに高めていくことです。
私たちは今回の調査結果とその後の年次調査のデータを利用して、良好な分野ではパフォーマンスを維持し、さらに良くできる余地のある分野では改善を行っていきます。

シニアマネジメントとの対話

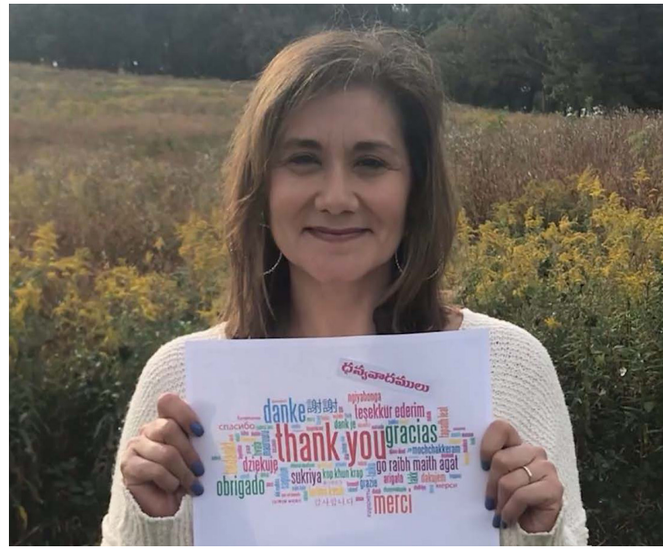
全世界の従業員の参加を促し透明性を高めるために、四半期ごとに全従業員を対象としたタウンホールミーティングを開催しています。これらのミーティングでは、Liventの社員がCEOと対話したり、経営陣にライブで質問する機会を提供しています。また、ローカルタウンホールミーティングを定期的に開催し、各施設にとって重要な問題について社員がシニアリーダーと直接話し合う場を設けています。

報酬&福利厚生

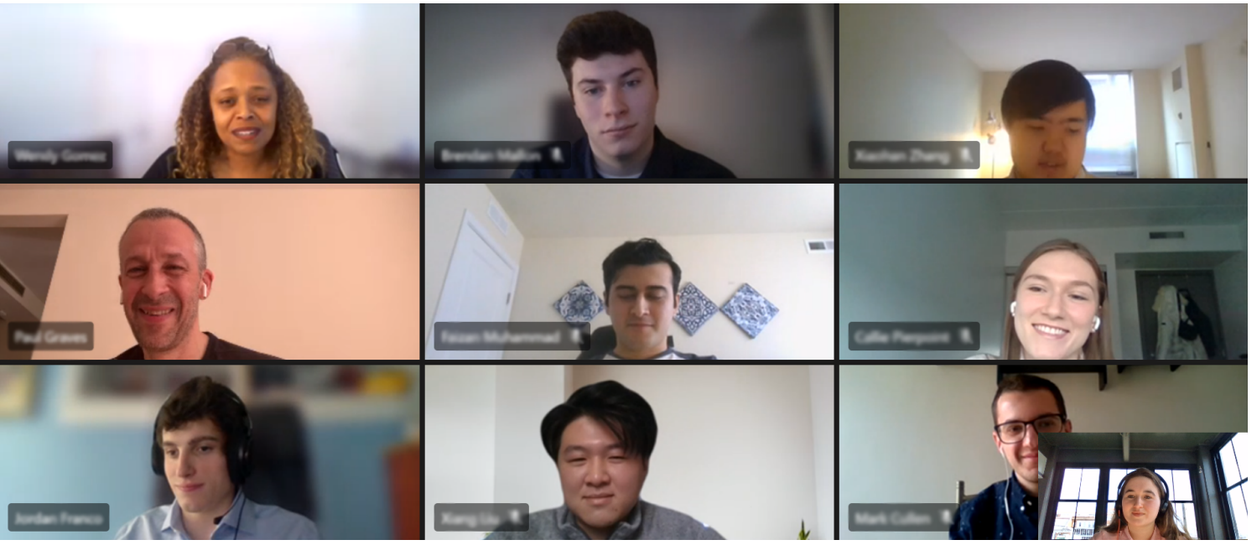
当社は従業員に対して競争力のある報酬および福利厚生プログラムを提供しています。当社のグローバルな報酬制度は職責を反映した給与水準を維持し、外部市場との競争力を高め、従業員を惹きつけ、維持し、モチベーションを高めることを目指しています。これらの目標を念頭に置いて、高いレベルのパフォーマンスを促進し、それに報い、様々なレベルのスキルや資格に合わせた柔軟性を提供し、同規模の企業や業界との比較可能性を確保しています。

リヴェントの福利厚生プログラムは、国/地域、雇用区分によって異なりますが、医療・処方薬・視覚および歯科保険・健康保険および柔軟な支出勘定・生命保険および事故保険・短期および長期の障害・従業員支援プログラム・休暇・家族休暇・ウェルネスのインセンティブとチャレンジが含まれます。

アメリカでは競争力のある401kプランを提供しており、資格のある社員には報酬の50%まで（IRSの上限まで）税引前で拠出する機会を提供しています。Liventは社員の拠出金の最初の5%のうち80%を会社が上乗せします。また、年に一度、Liventはすべての従業員のために給与期間毎に自動的に会社拠出金を貯蓄プランに提供します。すべての会社拠出金は直ちに完全に権利化されます。



世界各地のLiventの仲間たち。



左上: 学生とLivent CEO Paul Gravesのバーチャルな「出会いの場」。左下：Catamarca、アルゼンチンのLiventコミュニティリレーションチームのメンバー。

ゴーイング・ザ・エクストラ・マイル・プログラム

Liventでは当社のコアバリューを反映し、期待をはるかに上回る活躍をした社員の優秀性を評価・報いるためゴーイング・ザ・エクストラ・マイル・プログラム（GEM）設けています。会社の誰もが3つのカテゴリー（エメラルド・ルビー・ダイヤモンド）のいずれかのGEMアワードに同僚を推薦することができます。それぞれのカテゴリーには、さまざまなギフトや賞金が用意されています。

タレントパイプライン&トレーニングプログラム

Liventは現在および将来の従業員のためにタレントパイプラインを構築する必要性を認識しています。

フィラデルフィアの本社ではDrexel大学とともに6ヶ月間のco-opプログラムを提供しています。このプログラムでは、学生が教室での授業と専門分野での実践的な経験を両立させています。

大学を卒業した学生の多くはLiventの技術開発プログラム（EDP）でフルタイムのインターンシップを経験します。EDPは新進のエンジニアを対象とした12～18ヶ月の公式トレーニングプログラムです。EDPの優秀な参加者にはLiventでのフルタイムのエンジニア職が与えられます。

同様に、アルゼンチンでは私たちの「エマージング・タレント」実習が地元住民や先住民の人材パイプラインと雇用機会の増加に役立っています。

Liventラーニングコミッティ

従業員の専門的な成長と継続的な学習のニーズをサポートするためのコミットメントの一環として、多くの事業所でラーニングコミッティを設置して経営・Excelの基礎・リチウム製品の安全性などさまざまなテーマで「ランチ・アンド・ラーン」などの学習活動を展開しています。この取り組みの一環として、継続的な学習と改善の文化を支援するため、グローバルなイントラネットサイト「ラーニングセンター」を立ち上げました。

グローバル従業員サービス記念賞

Liventは四半期ごとに、様々なサービスマイルストーンを達成した社員のリストを発表しています。これらの従業員は、その献身と奉仕に対して表彰され、ささやかな賞が贈られます。

世界環境デーのための植樹（Patancheru、インド）

多様性、平等&インクルージョン

GRI 405-1, UNSDG: 5

2020年、Liventはアメリカおよび世界中で起きている社会的不公正や体系的な人種差別に対する大規模な抗議活動を受けて、受動的な観察者にならないという決断を下しました。そして、最高人事責任者が委員長を務めるDE&I委員会に権限を与え、社会的進歩に対する会社のコミットメントをよりよく反映した、より広範なミッションを追求することにしました。そのミッションとは：

Liventでは、すべての人が責任を共有し、受容・尊敬・帰属意識・公平性・機会均等に基づいた組織を構築します。

私たちは企業文化・人材・オペレーション・お客様・人間関係のすべての面で「違いを祝う」というコアバリューを反映させるための説明責任を推進します。

このミッションはDE&Iイニシアチブの戦略的柱である認識・関与・説明責任・監視によって支えられています。

すべてのDE&Iの取り組みは、多様性のあるチームがより良いビジネスパフォーマンスを出すという知識に裏打ちされています。多様性に富んだ企業はより革新的で、より回復力があり、複雑な課題にも対応できるという研究結果が明らかになっています。

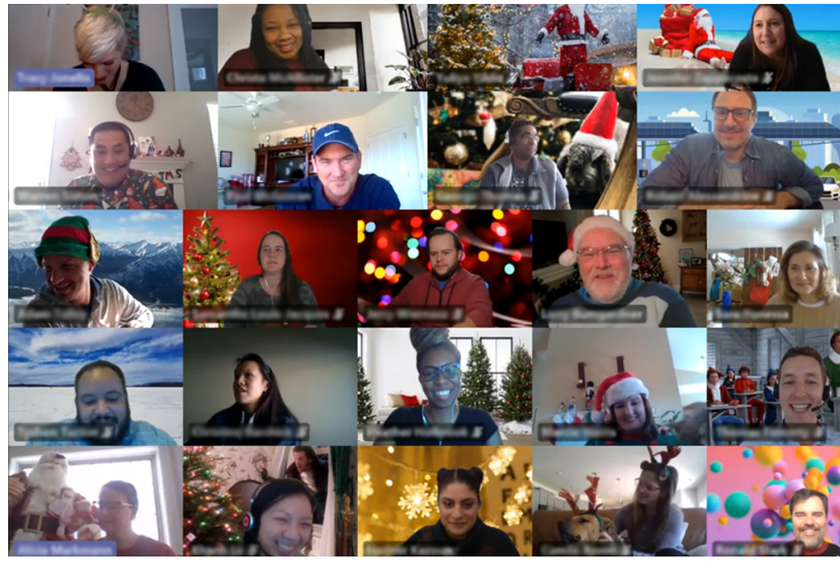
しかし、多様性だけでは十分でないこともわかっています。多様性を成功させるためには、以下のような文化の中で育まれる必要があります：(1)多様性を生み出しサポートする、(2)機会均等と公平性を優先したマネジメントシステムと実践、(3)多様な視点、背景、専門性を持つ従業員のために、包容力と帰属意識を育む。

このような環境の下でこそ従業員は本来の自分を発揮し、よりダイナミックな組織作りに貢献することができるのです。これらはすべてLiventのコアバリューである「違いをを祝う」の中核をなすものです。

ブラック従業員ネットワーク(BEN)

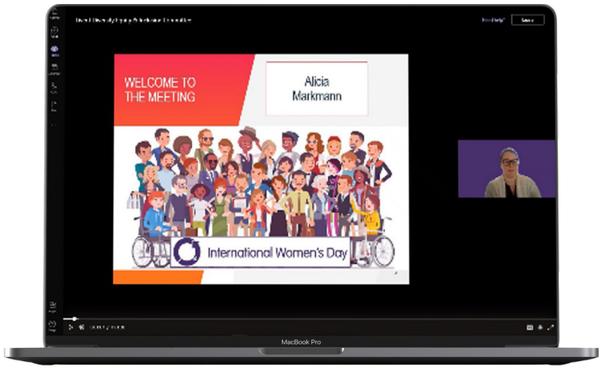
2020年、Liventは最高財務責任者がスポンサーとなって、初の社員アフィニティグループ「ブラック社員ネットワーク（BEN）」を創設しました。BENは私たちの世界が直面している難しい社会問題についてオープンで正直な会話を通じて、すべての従業員が自分のコンフォートゾーンを離れることに挑戦しています。また、BENは社員が同僚の証言を聞く場でもあり、その多くは勇気を持って個人的な経験を共有しています。

LIVENTでは、すべての人が責任を共有し、受容・尊敬・帰属意識・公平性・機会均等に基づいた組織を構築します。



上：R&Dチームのメンバー下：アメリカの社員を対象としたバーチャルな年末のホリデーパーティー。

上：ベッセマーシティのオペレーター。下：Catamarca, アルゼンチンでのワークショップ。



グローバルDE&Iバーチャルタウンホールと国際女性デーの記念行事、2020年3月8日

グローバル・ウィメンズ・ネットワーク

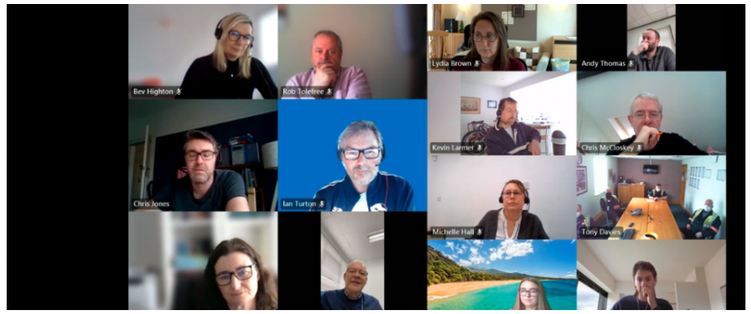
グローバル・ウィメンズ・ネットワーク（GWN）は、アルゼンチンの女性たちを支援するために、現地の女性グループによって発足しました。アルゼンチンの女性グループはパンデミックによって増幅された多くの課題を含め、女性が職場内外で直面する多くの問題に目を向けさせてくれました。「DE&Iの取り組みの基礎」と「無意識のバイアス」のリーダーシップ・トレーニング・プログラムをアルゼンチンで実施したことは、女性だけでなくこの地域で歴史的に権利を奪われてきたすべてのグループのために、これらの問題に対処するための良い第一歩となりました。
2021年3月8日の国際女性デーに、このグループはLiventのCEOのスポンサーのもと、グローバル・ウィメンズ・ネットワーク（GWN）として正式に拡大しました。

LiFT UP

最も新しい社員のアフィニティグループは「LiFT UP」です。メンバーは専門性の開発に共通の関心を持っています。このグループはLiventののチーフコマーシャルオフィサーとアジアパシフィックのチーフアドミニストレーションオフィサーがスポンサーとなっています。このグループは世界中のリベント社員に開かれており、各地域の代表者からなる小委員会によって運営されています。LiFT UPはリソースを提供し、イニシアチブをリードし、仲間とメンターのコミュニティを作ることで、Liventの社員の仕事・個人・自己認識上の開発目標をサポートすることを目的としています。

メンタリングプログラム

成長を続けるアフィニティグループをサポートするために、Liventは2021年3月にグローバル・メンタリング・プログラムを開始しました。これは、社員が社内の他の社員の知識・知恵・キャリア経験を活用できるようにするものです。このプログラムを通じて、社員はアイデンティティを共有する他者と関わり、学び、Livent全体でサポートネットワークを構築することができます。



ベッセマーシティ | シャーロット | フィラデルフィア

LiventはUnited Wayと長年にわたる関係を築いています。2020年後半、アメリカの地域コミュニティを支援するための年間寄付キャンペーンを開始しました。ベッセマーシティ、シャーロット、フィラデルフィアの従業員が参加しました。このキャンペーンから、United Way Greaterフィラデルフィアおよび南ニュージャージーとUnited Way of Gaston County、 N.C.に約US$22,000の寄付金が集まりました。

左上: UKの「変化の時」イニシアティブの一環として、UKのBromboroughにいる同僚たちが、メンタルヘルスについて話し合うためのバーチャル会議を開催しました。

コミュニティへの参加&発展

Liventでは自分たちが働き生活するコミュニティがあってこそ成功すると考えています。Liventは世界中の人権の保護と向上に取り組んでいます。

そして、コミュニティ、特にアルゼンチンのコミュニティにポジティブな影響を与えることに尽力しています。このコミットメントはサステナビリティプログラムの企業の社会的責任（CSR）の部分で生かされています。私たちは、慈善活動、従業員のボランティア活動、インフラ整備、地域の能力開発など、さまざまな活動を通じて世界中のコミュニティを支援しています。

世界各地のLiventの各施設では、地域のニーズに対する従業員の理解に基づいて、独自のコミュニティエンゲージメント活動を行っています。会社のリーダーシップからのサポートを受けて、従業員は協力して慈善寄付やボランティア活動で支援する地域組織を選択します。Liventのコミュニティ活動は安全の促進、STEM（科学・技術・工学・数学）教育、健康と栄養、そして貧困の緩和に焦点を当てています。

グローバルなCSR活動の一部

（アルゼンチン以外）

アメリカ

- United Way地域募金キャンペーン
- フィラデルフィア・プライド・パレード
- 恵まれない地域の優秀な高校生を対象としたLEADプログラム
- ペンシルベニア女性会議
- アルツハイマー病を終わらせるために歩く、ウォーク・トゥー・エンド・アルツハイマー
- 苦難に直面している家族を支援する、マイルズ・オブ・スマイルズ
- Gaston CountyのUnited Way「思いやりの日」
- ハビタット・オブ・ヒューマニティの地域プログラム
- Cleveland Countyホスピス、NC
- セカンドハーベスト・フードバンク
- 地元の大学で開催される科学・技術博覧会
- Horses as Herosセラピーホースプログラム
- Gaston County学校向けにSTEMと栄養面でのサポート

中国

- 国際女性デーのお祝いとサービス活動
- 従業員と家族のための安全デー

インド

- 家族の日のお祝い
- 全国安全週間
- 地域の学校への学用品・資金援助
- 世界環境デー

シンガポール

- 少年隊の食料収集
- Raining Raincoats、衣料品の寄付

UK

- クレアハウス子供ホスピスへの募金活動
- 前立腺がんのための募金活動（March for Men 10k fundraiser）
- マクミランがんサポートの募金活動
- メンタルヘルスに関する対話「変える時」

グローバル

- アースデイ
- 女性に対する暴力撤廃のための国際デー

アルゼンチンにおけるコミュニティ・リレーションズ・プログラム

アルゼンチンでは、強固で包括的なコミュニティ・リレーションズ・プログラムを実施しています。2020年、アルゼンチンのコミュニティ・リレーションズ・チームは当社の事業所周辺に住む人々やコミュニティの幸福と発展を促進するために、一連のプログラムとアクションを実施しました。チームを動かした3つの柱：

1）地域開発と雇用

- “La Puna”起業家
- 農産物生産プログラム
- 若手プロフェッショナル
- CAAS(学習契約)

2) 生活の質

- 健康と栄養：地域住民への支援、トレーニング、緊急時対応センターへの寄付、子ども・高齢者・妊婦のための炊き出しへの食品の提供
- 教育：学生奨学金制度を通じた若者のトレーニングと開発の促進
- 良い隣人プログラム

3）気候変動対策

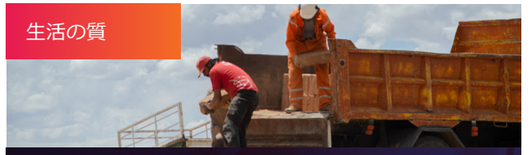
- Trapiche川の沖積地の回復と再活性化
- 環境教育

これらの柱にまたがるのは、私たちの **コーポレート・ボランティア・プログラム**であり、当社の従業員が地域住民・起業家・機関と緊密に協力して公益のための地域活動に従事しています。

2020年、Liventはアルゼンチンの国や地域の経済やコミュニティを支援するために5,000万USドル以上を投資しました。*

*コミュニティ・リレーション・プログラム、アルゼンチンにおける資本支出、水信託契約を含みます。

生活の質



Liventの生活の質プログラムには栄養と健康への取り組みが含まれています。子どもたちへの毎月の食料寄付、健康上の問題を抱える隣人への支援、地元の学生のための学校プログラムの開発などを行っています。Liventは救急車、デジタル体温計、マスク、フェイスシールドを地域コミュニティに寄贈しました。学生奨学金プログラムは2021年に開始され、高等教育を受けている学生にチューターを介して経済的・精神的なサポートを提供します。

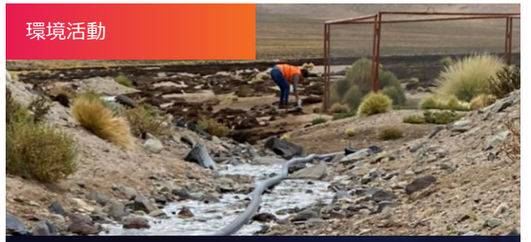
企業ボランティア

企業ボランティアプログラムを通じて、Livent社員は木製パレットをコミュニティのための家具に変える作業を行いました。「パレットのリサイクル」活動に参加したのは社員だけではなく、地域の住民や自治体の職員も参加しました。この活動は現在もPeñónで行われています。

地域開発&雇用

La Puna起業家プログラムは、起業家がビジネスを始めるためのトレーニングを受ける機会を提供しています。起業家はビジネスプランの立て方を学び、商業、観光、文化、鉱業などの分野で新たなチャンスを広げています。

環境活動



Liventの環境保護活動は、プロジェクトやワークショップを通じて、水と廃棄物を対象としています。Trapiche川の氾濫原を再活性化するための恒久的な灌漑システムの設置に着手しました；このプロジェクトは2025年に完了する予定です。バーチャルワークショップでは、廃棄物を再利用してリサイクルすることで家庭で堆肥を作る方法を地域の人々に紹介しています。

地域の雇用&トレーニング

私たちは、地元の労働者を雇用することで、アルゼンチンのコミュニティを支援しています。私たちは、フェニックスの工場ではCatamarca州の住民を100名以上雇用していることを誇りに思います。地元の能力を高めるために、私たちはLiventで働いていないCatamarcan州の住民に、職業訓練や大学の奨学金を提供しています。提供している職業訓練には、採掘プロセスのアシスタントオペレーターや採掘プロセス技術などがあります。

「ESTAMOS CON VOS」（私たちはあなたと共にある）

GRI 411-1, SASB: EM-MM-210b.1, SASB: EM-MM-210a.3, UNSDG: 10

アルゼンチンでのコミュニティ支援プログラムの多くは、スペイン語で「Estamos Con Vos」（私たちはあなたと共にある）というブランド名で展開されており、コミュニティの向上に貢献するというLiventの真摯な姿勢を示しています。コミュニティへの投資やアウトリーチ活動を通じて、Liventは先住民と民間企業との関係改善に貢献しています。

コミュニティ・ダイアログ・ラウンドテーブル・ミーティング

2021年3月より、先住民を含む地域社会の人々との双方向のコミュニケーションを確立するために、コミュニティ・ダイアログ・ラウンドテーブル・ミーティングを開始しましたこの月例会は、国連関連のNGOであるEcoConciencia財団が進行役を務め、Liventと地域社会との対話を可能にし、関係の透明性を確保しています。コミュニティのリーダーは、市長、鉱業大臣、先住民グループのリーダーなどが参加しています。Liventのチームには、当社の代表とコミュニケーションチームが参加しています。円卓会議では、コミュニティが懸念を表明したり、追加のサポートを要求することができます。このようにして、Liventは我々の目標とコミュニティの目標を一致させ、全員の利益のために協力することができるのです。

先住民族の方々

Salar del Hombre Muertoは人里離れた高地に位置しており、フェニクス施設の近くには、ごく少数の先住民が住んでいます。彼らは私たちの隣人であるため、私たちはこの小さなコミュニティと緊密に連絡を取り合っています。毎日チームを派遣して住民を訪問し、たびたび食料を提供し、他の必需品や医療関係者をオファーしています。

地域社会や先住民の方々と尊敬に満ちた関係を築き、維持するという私たちの取り組みは、組織のトップから始まっています。Liventの取締役会のサステナビリティ委員会は、地域コミュニティや先住民との関わりを監督しています。

また、Liventのビジネスリーダーの多くはアルゼンチンの抽出施設の近くにいる地元の先住民族の酋長やコミュニティリーダーを個人的に訪問し、交流を深めています。私たちは、アルゼンチンの先住民コミュニティのユニークな視点とニーズを理解し、彼らのフィードバックを運用方法に反映させるよう努めています。

左上: アルゼンチン、Catamarca州のコミュニティを支援するLiventの救急車

下：コミュニティ・ダイアログ・ラウンドテーブル・ミーティング（アルゼンチン）。

水のトラスト

アルゼンチンにおける地域社会との連携プログラムに加え、2015年10月にアルゼンチンのCatamarca州と共同で「Salar del Hombre Muerto信託ファンド」（以下、「水のトラスト」）を設立し、2018年にこれを改正しました。Liventはアルゼンチンでの事業収益の一部を水のトラストに寄付し、Catamarcaのコミュニティのためのインフラプロジェクトに資金を提供しています。水のトラストはCatamarcaの地方自治体とLiventから任命された代表者で構成される委員会が管理しています。水のトラストが資金提供した完了したプロジェクトには、以下のようなものがあります：

- AntofagastaとEl Peñonの太陽光発電所
- Bordos Negros地域のAntofagasta de la Sierraに公園のレンジャーステーションを建設
- Antofagasta de la SierraにおけるLas Pitas川の貯水池と飲料水用の貯水槽の復旧工事
- 商品やサービスを交換するためのRio Bolson橋とCura Quebrada橋の建設
- 州道No.43の舗装工事
- Antofagasta de la Sierraの自治体に寄贈する備品の購入

水のトラストは地域社会のためのインフラプロジェクトに資金を提供しています。CATAMARCA, アルゼンチン。

水のトラストが出資したEl Peñon（アルゼンチン）のソーラーパーク

人権&責任ある調達

GRI 102-41, GRI 403-7, GRI 412-2, GRI 412-3, SASB: EM-MM-310a.1, UNSDG: 16

Liventは人権の保護と向上に取り組んでいます。

私たちの人権ポリシーは世界人権宣言・国連グローバルコンパクト原則・国際労働機関（ILO）の労働における基本的原則及び権利に関する宣言を指針としています。この方針は当社のグローバルなビジネス全体を通して人権を尊重する責任を明確にするものです。ポリシーには、無差別に関するLiventの姿勢、児童・強制・拘束労働、結社・団体交渉の自由、労働者の健康と安全に対する期待、労働時間を含む労働条件、公正な賃金と報酬、移民労働者の保護、移民労働者の保護、過酷で非人間的な扱いやハラスメントに対する保護などが含まれていますが、これに限定されるものではありません。

Liventはビジネスを行う方法について、社会的および環境的責任のエリアで高い基準を設定しています。

また、サプライヤーにも同様に、誠実さと倫理的な行動の基準を持ってビジネスを行うことを期待しています。私たちはお客様に高品質の製品を安全で倫理的、社会的に配慮した持続可能な方法で製造するためには、サプライヤーが不可欠であると認識しています。当社の調達プロセスにおける説明責任と透明性の確保は、当社の新しいサステナビリティ目標を達成し、お客様の目標達成を支援するための中核的な要素です。また、サプライヤーやパートナーの皆様と協力して、これらの目標を達成し、私たちが責任を負うべき環境・社会・ガバナンス（ESG）基準を満たすことが、かつてないほど重要になっています。

そのため、当社では正式なサプライヤー・サステナビリティ・プログラムの導入を進めています。このプログラムの重要な要素は「サプライヤー・サステナビリティ・ポリシー」です。この方針とそれに付随するプロセスは、当社のビジネスのあらゆる側面において責任ある持続可能な活動を推進するために倫理的かつ誠実に行動する、という当社のコミットメントを共有する企業を特定するのに役立ちます。

サプライヤー・サステナビリティ・ポリシーを支えるのはサプライヤー行動規範です。

サプライヤー行動規範の一部としてサプライヤーとコントラクターに対して、彼らがLiventと行う仕事や彼ら自身の事業において、私たちの人権ポリシーを遵守することを求めています。また、サプライヤーに対して、自社のサプライヤー・請負業者・下請け業者がこのサプライヤー行動規範に従って行動することを保証するための合理的な措置を講じることを期待しており、下請け業者の明示的な承認を求めています。

Liventは人権の尊重、誠実さ、および環境責任に関する価値観を共有する企業から部品や材料を調達することを約束します。責任あるサプライチェーンを確保するためには、一緒に働くサプライヤーが不可欠であるため、Liventは正式なサプライヤー選定および承認プロセスを設けています。このプロセスでは、すべての新規の重要な請負業者および原材料のサプライヤーが、品質・安全性・人権基準・サステナビリティを遵守しているかどうかを審査します。このプログラムはサプライヤーのリスクを管理し、軽減するために不可欠です。

私たちは定期的な監査と重要業績評価指標（KPI）の選択を通じて、このプロセスの遵守状況を追跡・報告しています。またLiventのグローバル資材グループの社員に対して、サプライヤー選定および承認プロセスに関するトレーニングを毎年実施しています。

さらに、Liventの 紛争鉱物ポリシーの一環として、Dodd-Frank法第1502条を遵守することを約束しています。これは、コンゴ民主共和国（DRC）またはその隣国の武装グループに、直接または間接的に資金を提供したり利益をもたらしたりするスズ・タンタル・タングステン・金（3TG）を含む材料の使用を防止することを目的としています。私たちは製品の製造に使用される材料について、3TGsの有無を含めて注意深く監視しています。すべてのサプライヤーに対し、紛争鉱物を使用しないことを約束し、必要に応じて紛争と無縁の製錬所からのみ3TGを調達することを求めています。

LIVENTは私たちの価値観や基準を共有する企業から部品や素材を調達することを約束します。

ガバナンス

ベッセマーシティ、アメリカ

ガバナンス構造

GRI 102-18

当社はステークホルダーのニーズを満たし、会社全体に強い倫理観と説明責任を持たせるため、ガバナンスの構造を確立しました。当社の取締役会はシニアリーダ ーシップチームと積極的に関わりを持ち、Liventの文化と方向性を定めています。

2020年、当社の取締役会は非執行の会長を筆頭に9人の取締役で構成されました。当社はさまざまな経歴・スキル・専門知識・その他の差別化された個人的特性を持つ多様な取締役会メンバーを維持しており、新しいメンバーを選ぶ際にはこれらの特性を慎重に考慮しています。取締役会には監査委員会、報酬・組織委員会、選考・ガバナンス委員会、執行委員会・サステナビリティ委員会の5つの委員会が設置されています。各委員会には、義務、責任、および手順を概説する公式の憲章および/または細則があります。詳細は当社のウェブサイト をご覧ください。

倫理&企業行動規範

GRI 205-2, SASB RT-EE-510a.1

倫理的な業務遂行は、私たちが何者であり、どのように業務を行うかの中核をなすものです。私たちは、正直に、誠実に、そして法律を完全に遵守して行動することを約束します。これらの約束を守ることは、事業をうまく運営し、信頼されるブランドを構築し、単に正しいことをするために不可欠であると考えています。

Liventの倫理&企業行動規範（以下、規範）は、私たちの日々の活動やビジネス上の意思決定の指針となる全社的な基準を定めたものです。この規範は、Livent社、その子会社、関連会社、ジョイントベンチャー、およびリベントが直接または間接的にコントロールまたは管理しているその他のすべての事業体、従業員および取締役（Liventの業務に適用される範囲内）、Liventに代わって仕事をするサプライヤーおよび請負業者に適用されます。この規範で取り上げられている項目には、法律や規制の遵守、コンプライアンス違反への対応、顧客との関係、従業員の権利、情報プライバシー、利益相反、贈収賄防止、政治献金などがありますが、これらに限定されるものではありません。

新入社員には規範に関する研修を行い、全社員に対して毎年規範に関する必須の研修コースを実施しています。

ガバナンス&報告メカニズム

GRI 206-1

社員、サプライヤー、ビジネスパートナーがLiventの行動規範に違反する疑いを匿名で報告できる、サードパーティプロバイダーがホストする倫理報告ラインを設置しています。Liventは匿名であってもそうでなくとも、倫理的な懸念を報告した人を報復から保護することを約束します。

また、すべてのステークホルダーはLiventの取締役会に直接連絡することができます。

Zhangjiagang、中国の同僚たち

トレーニング&認証

新入社員には規範に関する研修を行い、全社員に対して毎年規範に関する必須の研修コースを実施しています。また、従業員に対し、規範で取り上げられている特定のトピックをより深く掘り下げた他の研修モジュールを完了することを求めています。
すべてのコースは多言語で行われます。

情報セキュリティ&増大するサイバー脅威への対策

私たちは、サイバーセキュリティは安全性と同様にすべての人の責任であると考えています。当社の従業員は、サイバー脅威に対する最初の防衛線です。当社では従業員の警戒心を高めるために、継続的なサイバーセキュリティ意識向上とトレーニングプログラムを実施しています。また、定期的にサイバー攻撃のシミュレーションを行い、脆弱性を特定して「実世界」のシナリオを実践しています。さらに、Liventのシステム、ネットワーク、IP、データ、顧客情報、従業員を保護するための様々なツールやポリシーを持っています。

ESGパフォーマンス指標

フェニックス、アルゼンチン

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
環境[1]					
製造&供給拠点	Liventの生産拠点数	#	6	6	6
	供給パートナーの拠点数	#	1	1	1
	ISO認定サイト(Liventの製造&供給拠点)	#	7	7	7
排出量	総温室効果ガス排出量(スコープ1&2)[2]	トンCO_2e	91,854*	124,390	113,028
	スコープ1排出量[2]	トンCO_2e	67,131*	–	–
	スコープ2排出量	トンCO_2e	24,723*	–	–
	温室効果ガス排出量インテンシティ[2]	トンCO_2e/製品生産トン数	2.0*	2.4	2.3
エネルギー	総エネルギー消費量	GJ	1,971,315*	2,094,067	1,968,431
	エネルギーインテンシティ	GJ/製品生産トン数	43.6*	41.1	39.9
水	総水使用量	立方メートル(m^3)	3,296,663*	3,263,712	3,398,920
	水質に関する許可、基準、および規制に関連する不遵守の件数	#	0	–	–
	水インテンシティ	m^3/製品生産トン数	72.9*	64.0	68.8

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
廃棄物量	総廃棄物量	kg	8,388,047*	10,519,440	13,531,219
	総危険廃棄物量	kg	1,335,530	–	–
	焼却	kg	115,364	–	–
	排水処理	kg	1,049,288	–	–
	埋立地	kg	170,878	–	–
	総非危険廃棄物量	kg	7,052,517	–	–
	焼却	kg	129,419	–	–
	排水処理	kg	6,399,802	–	–
	埋立地	kg	523,296	–	–
	リサイクルされた総廃棄物量	kg	1,243,478	–	–
	リサイクルされた総危険廃棄物量	kg	616,782	–	–
	リサイクルされた総非危険廃棄物量	kg	626,696	–	–
	報告義務のある流出件数	#	0	–	–
	総廃棄物量インテンシティ	kg/製品生産トン数	185.5*	206.3	274.4
社会					
従業員の構成	全世界の総従業員数（フルタイムおよびパートタイム）	#	747*	800	–
	全世界の契約者数	#	141	–	–
	地域別従業員数の割合				
	北アメリカ	%	39	41	–
	南アメリカ	%	40	38	–

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
従業員の構成	アジア	%	13	12	–
	ヨーロッパ	%	8	9	–
	従業員と契約社員の性別による割合				
	従業員 - 女性	%	21	21	–
	従業員 - 男性	%	79	79	–
	契約社員 - 女性	%	14	–	–
	契約社員 - 男性	%	65	–	–
	契約社員 - 性別不詳	%	21	–	–
	地域別の従業員と契約社員の比率				
	北アメリカ	%	85	–	–
	南アメリカ	%	95	–	–
	アジア	%	65	–	–
	ヨーロッパ	%	74	–	–
従業員の多様性[3]	全世界の総従業員数（フルタイムおよびパートタイム）	#	747*	800	–
	女性	%	21*	21	–
	男性	%	79*	79	–
	役員数	#	9*	9	–
	幹部職の女性	%	33*	44	–
	幹部職の男性	%	67*	56	–
	専門職の従業員総数[4]	#	217*	–	–
	専門職の女性[4]	%	41*	–	–
従業員の多様性[3]	専門職の男性[4]	%	58*	–	–
	性別不詳	%	<1	–	–
	オペレーション職の従業員総数[5]	#	559*	–	–
	オペレーション職の女性[5]	%	13*	–	–
	オペレーション職の男性[5]	%	87*	–	–
	性別不詳	–	<1	–	–
	米国従業員の人種的多様性				
	白人	%	58	–	–
	黒人・アフリカ系アメリカ人	%	19	–	–
	ラテン系/ヒスパニック系	%	3	–	–
	アジア/太平洋諸島	%	5	–	–
	2つ以上の人種	%	1	–	–
	不詳	%	14	–	–
	グローバルの年齢多様性				
	30歳未満	%	7	–	–
	30-50歳	%	58	–	–
	50歳以上	%	35	–	–

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
労使関係	労働協約の下で働く現役従業員の割合				
	北アメリカ	%	0	–	–
	南アメリカ	%	58	–	–
	アジア	%	0	–	–
	ヨーロッパ	%	0	–	–
安全[6]	ケガの応急処置[7]				
	従業員	#	9	17	–
	契約社員	#	8	5	–
	ケガの応急処置割合[7]				
	従業員	20万時間当たりの応急処置負傷者数	0.96	1.78	–
	契約社員	20万時間当たりの応急処置負傷者数	2.83	0.93	–
	記録可能な傷害・疾病				
	従業員	#	0	1	–
	契約社員	#	1	1	–
	記録可能な傷害・疾病の割合				
	従業員	20万時間当たりの負傷者/病人数	0*	0.11	–
	契約社員	20万時間当たりの負傷者/病人数	0.35	0.19	–

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
安全[6]	死亡者数および永久障害者数 - 合計	#	0	0	0
	業務上の傷害による死亡者数				
	従業員	#	0	–	–
	契約社員	#	0	–	–
	業務上の傷害による死亡率				
	従業員	%	0	–	–
	契約社員	%	0	–	–
	影響度の高い業務上の災害の件数（死亡者数を除く）				
	従業員	#	0	–	–
	契約社員	#	1	–	–
	影響度の高い業務上の災害の割合（死亡者数を除く）				
	従業員	#	0	–	–
	契約社員	#	0.35	–	–
	総労働時間 - 従業員	#	1,880,378	–	–
	総労働時間 - 契約社員	#	565,243	–	–
	内容物の損失　カテゴリー1インシデント[8]	#	0	0	0
	内容物の損失　カテゴリー2インシデント[9]	#	0	1	3
	内容物の損失　カテゴリー3インシデント[10]	#	217	162	288
	違反の通知（規制）	#	0	0	2

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
コミュニティ	Catamarcaで健康、栄養、教育、トレーニング、生活の質、気候変動対策、地域開発、雇用を支援するためにコミュニティ・リレーションズ（CR）プログラムを実施[11]	US$	730,545	998,205	390,329
	国や地域の経済を支えるアルゼンチンでの資本支出[12]	US$	46,534,906	105,241,477	42,453,574
	地域社会のインフラプロジェクトを支援する水のトラスト合意[13]	US$	3,024,652	2,875,119	227,215
セキュリティ&人権	紛争地域またはその周辺における確認埋蔵量の割合	%	0	–	–
	紛争地域またはその周辺における推定埋蔵量の割合	%	0	–	–
統治[14]					
取締役会の構成	取締役会の規模	#	9	7	–
取締役会の独立性	取締役会における非執行役員	#	8	6	–
	CEOの二重性	Y/N	N	N	–
取締役会と役員の多様性	取締役会の女性数	#	2	1	–
	取締役会の女性割合	%	22*	14	–
取締役会	取締役会への出席	%	75% +	75% +	–
監査委員会	監査委員会の規模	#	4	3	–
	監査委員会における非執行役員の人数	#	4	3	–
	監査委員会における非執行役員の割合	%	100	100	–
	独立した監査委員会議長	Y/N	Y	Y	–
報酬委員会	報酬・組織委員会の規模	#	3	3	–

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
報酬委員会	報酬・組織委員会における非執行役員の人数	#	3	3	–
	報酬・組織委員会における非執行役員の割合	%	100	100	–
	独立した報酬・組織委員会議長	Y/N	Y	Y	–
選考委員会	選考・ガバナンス委員会の規模	#	3	3	–
	選考・ガバナンス委員会における非執行役員の人数	#	3	3	–
	選考・ガバナンス委員会における非執行役員の割合	%	100	100	–
	独立した選考・ガバナンス委員会議長	Y/N	Y	Y	–
RSE/サステナビリティ委員会	CSR/サステナビリティ委員会	Y/N	Y	Y	–
	CSR/サステナビリティ委員会の規模	#	4	3	–
	CSR/サステナビリティ委員会における非執行役員の人数	#	4	3	–
	CSR/サステナビリティ委員会における非執行役員の割合	%	100	100	–
	独立したCSR/サステナビリティ委員会議長	Y/N	Y	Y	–
競争上の行動	反競争的行動規制に関連する訴訟手続きの結果としての金銭的損失の合計額	$	0	–	–
	贈収賄または汚職に関連する法的手続きの結果としての金銭的損失の合計額	$	0	–	–

トピック	指標	単位	2020年度	2019年度	2018年度
製品					
	製品安全に関連する訴訟手続きの結果としての金銭的損失の合計額	$	0	–	–
ポリシー					
環境	生物多様性ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	動物福祉ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	気候変動ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
倫理	贈収賄防止のための倫理ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	企業倫理ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	従業員保護 / 内部告発ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	政治献金ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
安全&人権	健康・安全ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	人権ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	企業レベルの労働力/労働者の権利に関するポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	紛争鉱物ポリシー(外部基準を参考)	Y/N	Y	Y	Y
	児童労働禁止ポリシー	Y/N	Y	Y	Y
	サプライヤー行動規範	Y/N	Y	Y	Y
	国連グローバル・コンパクトの署名活動[15]	Y/N	Y	Y	Y

注：前後のすべての表で、「-」はデータが利用できないことを意味し、「*」はデータがERM CVSによって保証されたことを意味します。

[1]環境データはLiventが直接所有・運営する6つの製造拠点を対象としています。中国のRugao、Jiangsuにある水酸化物の調達先であるJBは別会社であり、このデータには含まれていません。

[2]2020年には、大規模な再生可能エネルギー/風力発電プロジェクトへのカーボン・オフセット投資による20,833トンの削減を反映（スコープ1）。カーボンオフセットをしなかった場合の2020年の温室効果ガス総排出量（スコープ1および2）は112,687トンでした。カーボンオフセットをしなかった場合の2020年の温室効果ガス総排出量（スコープ1）は87,964トンでした。カーボンオフセットをしない場合の温室効果ガス排出量インテンシティ（スコープ1および2）は、CO_2e/製品生産トン数あたり2.5トンです。

スコープ1 CO_2eのファクター参照 - US EPA排出係数の温室効果ガスインベントリー（2011年）

Scope 2 CO_2eのファクター参照 - アルゼンチンおよびインド: 国際エネルギー機関、“燃料燃焼からのCO_2排出量”(2011年)。中国（電力）：“温室効果ガスプロトコル: 燃料使用による温室効果ガス排出量の計算ツール（2011年）。中国（蒸気）:アメリカエネルギー情報局の石炭の化学量論的換算係数、「石炭からの二酸化炭素排出係数」（1994年）。アメリカ：州別のUS EPA eGrid（2012年）UK：UK環境部門、食料農村地域省（2012年）。

[3]LiventのHRチームは2019年に多様性指標の追跡を開始したため、多くの場合、LiventがFMC社のビジネスユニットであった頃の2018年と2017年の共有できる過去データはありません。多様性データは従業員のみを対象としており、契約社員は対象外です。

[4]専門職とは、Liventの職種分類で特定される非製造業のスタッフと定義しています。流通、エンジニア、財務、HR、情報技術、法務、マーケティング、R&D。

[5]私たちはオペレーション職を、Liventの職種分類で特定されるすべての製造スタッフと定義しています。管理、通信、カスタマーサービス、健康、安全、環境、製造時給、製造管理、品質、規制/登録、販売、サイトサービス。

[6]安全データはすべてのLiventの施設（製造および非製造）を対象としています。「従業員」にはLiventのフルタイムおよびパートタイムの従業員と、Liventの従業員が直接管理する組み込み型の契約社員が含まれます。

[7]応急処置とは、現場で基本的な治療を受けた仕事上の怪我や病気のことを指します。

[8]内容物の損失カテゴリー1の事象は、以下のいずれかに該当する場合：死亡、永久的な障害、複数の休業中の負傷者、現場外の人員の負傷、10万ドルを超える現場での損害、5,000ドルを超える現場外の損害、5,000ドル以上の罰則を伴う規制機関の措置（警告または命令）、または現場外の人から現場管理者・メディア・地域組織へ2件以上の苦情。

[9]内容物の損失カテゴリー2の事象は、以下のいずれか1つ以上に該当する場合：従業員または契約社員の記録可能な傷害、25,000ドル以上の直接費用が発生する火災または爆発、 規制の閾値を超える可燃性または毒性の化学物質の急性放出。

[10]内容物の損失カテゴリー3の事象は、以下の場合：LOPCカテゴリー2の基準を満たしていないその他の事象。これには、プロセスエリアでの予定外または不測の火災が含まれる。2019年後半に「内容物の損失カテゴリー3の事象」の定義が拡大され、最低基準値以上のリークやリリースのみ報告が求められていた例年とは異なり、すべての流出や放出が対象になっています。

[11]アルゼンチンペソの大幅な為替変動を考慮し、すべての年度でUS$で表示しています。

[12]アルゼンチンペソの大幅な為替変動を考慮し、すべての年度でUS$で表示しています。Livent2019サステナビリティレポートで示されていたように、Catamarcaだけでなくアルゼンチンにおけるすべての資本支出（発生ベース）を含みます。2020年の資本支出額はCOVID-19パンデミックおよびその他の業界要因により、すべてのグローバル拡張プロジェクトを中断するというLiventの2020年3月の決定を反映しています。

[13]アルゼンチンペソの大幅な為替変動を考慮し、すべての年度でUS$で表示しています。Salar del Hombre Muerto信託ファンド（以下、水のトラスト）は、2015年にアルゼンチンのCatamarca州と提携して設立され、2018年に改正されました。Liventはアルゼンチンでの事業収益の一部を水のトラストに寄付し、Catamarcaのコミュニティのためのインフラプロジェクトに資金を提供しています。水のトラストはCatamarcaの地方自治体とLiventから任命された代表者で構成される委員会が管理しています。

[14]2019年には、NYSE上場会社マニュアル303A.02(b)項に基づく「独立取締役」は以下の通りでした：取締役会メンバー4名、監査委員会の全メンバー（議長を含む）、報酬委員会および選考委員会のメンバー各2名、サステナビリティ委員会の議長。2020年3月1日時点、報酬委員会および選考委員会のメンバー（議長を含む）はすべて独立取締役です。

[15]LiventはFMC社の一員として、2019年度前半まで国連グローバル・コンパクトに署名・参加をしていました。2020年度初頭、Liventは独立した企業として国連グローバル・コンパクト（UNGC）に参加しました。

開示資料

Güemes、アルゼンチン

GRIコンテンツ索引

GRI 102-55

GRI 標準 タイトル[1]	#	開示タイトル	コンテンツの場所	SASB[2]	UNSDGs[3]	TCFD[4]
一般的な開示事項						
	102-1	組織名	Liventについて - 会社概要	–	–	–
	102-2	活動、ブランド、製品、サービス	Liventについて - 会社概要	–	–	–
	102-3	本社場所	Liventについて - 会社概要	–	–	–
	102-4	操業場所	Liventについて - 会社概要 Liventについて - 場所	EM-EP-000.B EM-EP-000.C	–	–
	102-5	所有権と法的形態	–	–	–	–
	102-6	提供するマーケット	Liventについて - 会社概要 Liventについて - 製品&提供するマーケット	–	–	–
一般的な開示事項	102-7	組織の規模	Liventについて - 会社概要	–	–	–
	102-8	従業員および他の労働者に関する情報	Liventについて - 会社概要	–	–	–
	102-9	サプライチェーン	Liventについて - EV/電池材料のサプライチェーン	–	–	–
	102-10	組織とサプライチェーンの大きな変化	Liventについて - Liventの戦略 - 拡大計画	–	–	–
	102-11	予防原則またはアプローチ	–	–	–	–
	102-12	社外の取り組み	–	–	–	–
	102-13	協会への加盟	当社のサステナビリティプログラム - 概要 当社のサステナビリティプログラム - 責任ある鉱業保証のための取り組み（IRMA）	–	–	–

GRI 標準 タイトル[1]	#	開示タイトル	コンテンツの場所	SASB[2]	UNSDGs[3]	TCFD[4]
一般的な開示事項	102-14	上級意思決定者の声明	CEOメッセージ	–	–	戦略
	102-16	価値観、原則、基準、行動の規範	Liventについて - コアバリュー	–	–	–
	102-18	統治構造	当社のサステナビリティプログラム - サステナビリティプログラム統治 ガバナンス - 統治構造	–	–	–
	102-40	ステークホルダーグループの一覧	当社のサステナビリティプログラム - ステークホルダー	–	–	–
	102-41	団体交渉協定	社会的責任 - 人権&責任ある調達	EM-MM-310a.1	–	–
	102-42	ステークホルダーの特定と選定	当社のサステナビリティプログラム - ステークホルダー	–	–	–
	102-43	ステークホルダー・エンゲージメントへのアプローチ	当社のサステナビリティプログラム - ステークホルダー	–	–	–
	102-44	主なトピックと懸念事項	当社のサステナビリティプログラム - マテリアリティ	–	–	–
	102-45	連結財務諸表に含まれる事業体	当社のサステナビリティプログラム - グリーンボンド	–	–	–
	102-46	レポートの内容とトピックの境界の定義	CEOメッセージ	–	–	–
	102-47	素材トピックの一覧	当社のサステナビリティプログラム - マテリアリティ	–	–	–
	102-48	情報の再表示	–	–	–	–
	102-49	報告内容の変更	–	–	–	–
	102-50	報告期間	–	–	–	–
	102-51	直近のレポートの日付	2019	–	–	–
	102-52	報告サイクル	年次	–	–	–
	102-53	レポートに関するお問い合わせ先	George.Thomas@livent.com	–	–	–

GRI 標準 タイトル[1]	#	開示タイトル	コンテンツの場所	SASB[2]	UNSDGs[3]	TCFD[4]
一般的な開示事項	102-54	GRIスタンダードに準拠した報告の主張	当社のサステナビリティプログラム - マネジメントシステムとフレームワーク	–	–	–
	102-55	GRIコンテンツ索引	開示情報参照テーブル / 索引	–	–	–
	102-56	外部保証	当社のサステナビリティプログラム - マネジメントシステムとフレームワーク	–	–	–
環境						
水の使用	303-1	共有資源としての水との関わり	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷) 環境 - 持続可能な水の使用 環境 - 水の使用	–	14	–
	303-2	水の排出に関する影響の管理	環境 - 水の使用	–	14	–
	303-3	取水	環境 - 水の使用	TC-ES-140a.1 EM-MM-140a.1	–	–
	303-4	水の排出	環境 - 水の使用	–	14	–
	303-5	水使用料	環境 - 水の使用	TC-ES-140a.1 EM-MM-140a.1	–	–
エネルギー、排出&気候変動	302-1	組織内のエネルギー消費	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷)	TR-AP-130a.1 RT-EE-130a.1 EM-MM-130a.1	7	指標&目標
	302-2	組織外でのエネルギー消費	Liventについて - 製品影響&気候変動	TR-AP-130a.1 RT-EE-130a.1 EM-MM-130a.1	7	指標&目標
	302-3	エネルギーインテンシティ	環境 - エネルギーインテンシティ・チャート	–	7	指標&目標

GRI 標準 タイトル[1]	#	開示タイトル	コンテンツの場所	SASB[2]	UNSDGs[3]	TCFD[4]
エネルギー、排出&気候変動	302-4	エネルギー消費量の削減	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷)	–	7	リスクマネジメント
	302-5	製品サービスのエネルギー必要量の削減	Liventについて - 製品影響&気候変動	–	7	リスクマネジメント
	305-1	直接（スコープ1）温室効果ガス排出量	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷) 環境 - CO_2e Liventの炭酸リチウムと水酸化リチウム製品のフットプリント	EM-MM-110a.1	13	指標&目標
	305-2	エネルギー間接（スコープ2）温室効果ガス排出量	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷) 環境 - CO_2e Liventの炭酸リチウムと水酸化リチウム製品のフットプリント	–	13	指標&目標
	305-3	その他間接（スコープ3）温室効果ガス排出量	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷)	–	13	指標&目標
	305-4	温室効果ガス排出量インテンシティ	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷)	–	13	リスクマネジメント
	305-5	温室効果ガス排出量の削減	新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (環境負荷)	EM-MM-110a.2	13	リスクマネジメント
	305-6	オゾン層破壊物質（ODS）の排出量	–	EM-MM-120a.1	13	指標&目標
	305-7	窒素酸化物(NO_x)、硫黄酸化物（SO_x)、その他重要な大気排出	–	EM-MM-120a.1	13	指標&目標
排出物&廃棄物	306-1	排水 - 品質と目的地別	環境 - 抽出プロセス	–	12	–
	306-2	廃棄物 - 種類と処理方法別	環境 - 廃棄物処理インテンシティ・チャート	TC-ES-150a.1	12	–
	306-3	重要な流出物	社会的責任 - 労働衛生&安全性	RT-EE-150a.2	14	–
	306-4	有害廃棄物の輸送	–	TR-AP-150a.1 RT-EE-150a.1	12	–

GRI 標準 タイトル[1]	#	開示タイトル	コンテンツの場所	SASB[2]	UNSDGs[3]	TCFD[4]
排出物&廃棄物	306-5	水の排出や流出によって影響を受ける水域	環境 - 抽出プロセス	–	14	–
製品ライフサイクルインパクト	–	–	–	–	–	–
社会						
労働衛生&安全性	403-1	労働衛生と安全マネジメントシステム	当社のサステナビリティプログラム - マネジメントシステムとフレームワーク 社会的責任 - 労働衛生&安全性 新たなゴール - 成功の積み重ね、レベルアップ (社会的責任、透明性)	–	–	–
	403-2	危険の特定、リスクアセスメント、事故調査	社会的責任 - 労働衛生&安全性	–	–	–
	403-3	労働衛生サービス	社会的責任 - COVID-19パンデミック対応とビジネス継続性	–	–	–
	403-4	労働者の参加、相談、労働安全衛生に関するコミュニケーション	社会的責任 - 労働衛生&安全性	–	–	–
	403-6	労働者の健康促進	社会的責任 - 労働衛生&安全性	–	–	–
	403-7	ビジネス関係に直結する労働安全衛生上の影響の防止と緩和	社会的責任 - 人権&責任ある調達	–	–	–
	403-8	労働衛生と安全マネジメントシステムの対象となる労働者	社会的責任 - 労働衛生&安全性	–	–	–
	403-9	労働災害	社会的責任 - 労働衛生&安全性	TC-ES-320a.1	–	–
	403-10	仕事に関連した健康障害	社会的責任 - 労働衛生&安全性	TC-ES-320a.1	–	–
先住民族とコミュニティへの影響	411-1	先住民族の権利に関わる違反事例	社会的責任 - コミュニティへの参画と開発”Estamos Con Vos（私たちはあなたと共にある）”	EM-MM-210a.3 EM-MM-210b.1	10	–

GRI 標準 タイトル[1]	#	開示タイトル	コンテンツの場所	SASB[2]	UNSDGs[3]	TCFD[4]
多様性&インクルージョン	405-1	自治体および従業員の多様性	社会的責任 - 多様性、平等&インクルージョン	–	5	–
	405-1	男性に対する女性の基本給および報酬の比率	–	–	5	–
人権	412-1	人権に関するレビューまたは影響評価の対象となった業務	社会的責任 - 人権&責任ある調達	–	16	–
	412-2	人権ポリシーまたは手順に関する従業員研修	当社のサステナビリティプログラム - 概要 社会的責任 - 人権&責任ある調達	–	16	–
	412-3	人権条項を含む、または人権審査を受けた重要な投資協定および契約書	社会的責任 - 人権&責任ある調達	–	16	–
統治						
倫理&コンプライアンス	205-1	汚職に関連するリスクを評価した事業	当社のサステナビリティプログラム - 概要	–	–	–
	205-2	腐敗防止ポリシーおよび手順に関するコミュニケーションと研修	ガバナンス - 倫理規範およびビジネス行動	RT-EE-510a.1	–	–
	205-3	確認された不正行為の事例および措置	–	–	–	–
	206-1	反競争的行為、反信頼、独占的行為に対する法的措置	当社のサステナビリティプログラム - 概要 ガバナンス - 苦情処理および報告メカニズム	–	–	–

[1]GRI = Global Reporting Initiative（グローバル・レポーティング・イニシアティブ）

[2]SASB = Sustainability Accounting Standards Board（サステナビリティ会計基準委員会）

[3]UNSDG = The United Nations Sustainable Development Goals（国連SDGs）

[4]TCFD = Task Force on Climate-related Financial Disclosures（気候関連財務情報開示タスクフォース）

Livent ISO 26000インデックス

主題[1]	社会的責任の問題	Liventのポリシー、手順または行動
6.2 組織統治	課題1: 意思決定プロセスおよび構造	サステナビリティ委員会憲章 監査委員会憲章 Liventにおける倫理のレスポンスラインと取締役会とのコミュニケーション 統治の原則、ポリシー、手順に関する声明 Liventの透明性の目標は 私たちのサステナビリティ目標の一部です ガバナンスガイドライン Liventの2020年サステナビリティデータとデータ収集方法に関する第三者保証 Liventのすべての拠点はマネジメントシステムの認証を受けています：ISO 45001(労働安全衛生)、ISO 9001(品質管理)、ISO 14001(環境管理) Liventは企業のリスクマトリックスを含むグローバルリスク基準を持っています（プロセスの安全性・労働安全・環境安全に適用可能）。 Liventの工場は2021年11月までにIATF16949認証を取得予定
6.3 人権	課題1: デューデリジェンス 課題2: 人権リスクの状況 課題3: 共犯の回避 課題4: 苦情の解決 課題5: 差別と脆弱なグループ 課題6: 市民的および政治的権利 課題7: 経済的、社会的および文化的権利 課題8: 労働における基本的原則および権利	Livent年次サステナビリティレポート Livent人権ポリシー Livent倫理・企業行動規範 Livent紛争ミネラルポリシー Liventにおける倫理のレスポンスラインと取締役会とのコミュニケーション 政治献金ポリシー CA透明法に対するLiventの声明 サステナビリティ委員会 サプライヤー行動規範 UK現代奴隷法声明 国連グローバルコンパクトへの参加とSDG s に対するコミットメント Liventの社会的責任の目標はLiventの新たな サステナビリティ目標の一部です LiventはIRMA自己評価プロセスを2021年2月に開始して、2022年3月までにアルゼンチンの鉱山事業について独立した第三者検証を開始する予定です。

主題[1]	社会的責任の問題	Liventのポリシー、手順または行動
6.4 労働慣行	課題1: 雇用および雇用関係 課題2: 労働条件および社会的保護 課題3: 社会的対話 課題4: 労働における健康および安全 課題5: 職場における人材育成および訓練	Livent年次サステナビリティレポート 報酬・組織委員会憲章 Livent倫理・企業行動規範 Liventにおける倫理のレスポンスラインと取締役会とのコミュニケーション サステナビリティ委員会憲章 サプライヤー行動規範 グローバルEHSポリシー ベッセマーシティEHSポリシー、ビジョン、原則 Liventの全拠点でISO 45001（労働安全衛生）認証を取得しています。 国連グローバルコンパクトへの参加とSDG s に対するコミットメント Liventの社会的責任の目標（EHSへ焦点をあてたもの）はLiventの新たな サステナビリティ目標の一部です Liventの各サイトには、地元の緊急対応組織と共有された緊急対応計画があります。 Liventの各サイトではリスクアセスメントツール (または同等のもの）を利用し、電子EHS情報管理システム（Cority）の一部として事故レポートを記録・追跡しています。 LiventはIRMA自己評価プロセスを2021年2月に開始して、2022年3月までにアルゼンチンの鉱山事業について独立した第三者検証を開始する予定です。 Liventは多様性・平等・インクルージョン（DE&I）委員会を設置し、以下の目標を掲げています：Liventが事業展開している地域を反映した従業員の多様性を目指すこと。給与の公平性を促進する報酬プロセスを維持すること。包括的な職場環境を育成すること。

主題[1]	社会的責任の問題	Liventのポリシー、手順または行動
6.5 環境	課題1: 汚染防止 課題2: 持続可能な資源の使用 課題3: 気候変動の緩和および適応 課題4: 環境、生物多様性の保護および自然生息地の回復	Livent年次サステナビリティレポート Liventの気候変動に関する声明 Livent紛争鉱物ポリシー サステナビリティ委員会 サプライヤー行動規範 グローバルEHSポリシー ベッセマーシティEHSポリシー、ビジョン、原則 Liventの全拠点でISO 14001（環境）の認証を取得しています。 Liventのサプライヤー・サステナビリティ・ポリシー BMWが2021年3月に発表したように、Liventは BMWグループとBASFから委託された科学的な水の調査に参加しています。 国連グローバル・コンパクトへの参加と国連SDG s に対するコミットメント Liventの環境影響目標は、Liventの新たな サステナビリティ目標です ZETA（排出ゼロ輸送協会）の会員 Liventは水文地質学者や研究者と協力して、水/塩水の健全性と生物多様性をモニタリングするためのSalarモデルを作成しています。 LiventはIRMA自己評価プロセスを2021年2月に開始して、2022年3月までにアルゼンチンの鉱山事業について独立した第三者検証を開始する予定です。 Liventは当社の事業をサポートする適切な環境許可を取得する際、現地のすべての規制を遵守することを約束しています。

主題[1]	社会的責任の問題	Liventのポリシー、手順または行動
6.6 公正な事業活動	課題1: 腐敗防止 課題2: 責任ある政治的関与 課題3: 公正な競争 課題4: バリューチェーンにおける社会的責任の促進 課題5: 財産権の尊重	Livent倫理・企業行動規範 CTPAT支援声明 政治献金方針 サステナビリティ委員会 英国税務戦略宣言2018 企業情報開示ポリシー 国連グローバルコンパクトへの参加とSDG s に対するコミットメント Liventの新たなサステナビリティ目標 LiventはIRMA自己評価プロセスを2021年2月に開始して、2022年3月までにアルゼンチンの鉱山事業について独立した第三者検証を開始する予定です。

主題[1]	社会的責任の問題	Liventのポリシー、手順または行動
6.7 消費者の課題	課題1: 腐敗防止 課題2: 責任ある政治的関与 課題3: 公正な競争 課題4: バリューチェーンにおける社会的責任の促進 課題5: 財産権の尊重	Livent年次サステナビリティレポート 安全操作ガイドは 当社のプロセスの全てのステップのため 製品データシートおよび安全データシート Liventにおける倫理のレスポンスラインと取締役会とのコミュニケーション Liventの動物保護ポリシー CA透明法に対するLiventの声明 グローバルEHSポリシー ベッセマーシティEHSポリシー、ビジョン、原則 企業情報開示ポリシー 2030年にEV販売100%を目指す - ZETA Livent R&Dおよび分析ラボ Liventの全拠点でISO9001（品質管理）の認証を取得しています。 Liventのグローバル危機管理計画の一環として、インシデント報告と対応管理のためのホットラインを設けており、グローバル危機管理チームがサポートしています。 Liventは当社の製品スチュワードシッププログラムを更新しました。 Liventはグローバルに統一された安全データシートと製品安全ラベルを作成し、消費者と環境保護に焦点を当てた製品用の拡張安全データシートを提供しています。 Liventの工場は2021年11月までにIATF16949認証を取得予定

主題[1]	社会的責任の問題	Liventのポリシー、手順または行動
6.8 コミュニティへの参加および発展	課題1: コミュニティへの参加 課題2: 教育および文化 課題3: 雇用創出および技能開発 課題4: 技術開発および技術へのアクセス 課題5: 価値および所得の創出 課題6: 健康 課題7: 社会的投資	Livent年次サステナビリティレポート Liventの社会的責任の目標はLiventの新たな サステナビリティ目標の一部です Liventは2020年4月から国連グローバルコンパクトの一員として 連SDG s のサポートを約束しています。この活動には慈善寄付、従業員のボランティア活動、インフラ整備、コミュニティへの働きかけ、地域の能力開発を通じたコミュニティの発展が含まれます。 Liventは国連の関連機関であるエコノミア財団が進行役を務める、コミュニティ対話ラウンドテーブル会議を主催しています。

[1]数字は対応を示しています。 ISO 26000の条項番号。

独立監査人の保証書

Livent Corporation に対する独立保証書

ERM Certification and Verification Services (ERM CVS) は、Livent Corporation (以下、Livent) の委託を受け、Livent2020 サステナビリティレポートに記載されている以下の情報に関して限定的な保証を提供した。

エンゲージメントの概要	
保証業務の範囲	以下の選択された指標に関する連結企業の 2020 年（2020 年 1 月 1 日～2020 年 12 月 31 日）のデータが、報告基準および定義に基づき、すべての重要な点において公正に表示されているか保証を行った。 環境指標 • スコープ 1 温室効果ガス排出量（直接エネルギー使用による）[トン CO2e] • スコープ 2 温室効果ガス排出量（所在地ベースの方法）[トン CO2e] • 温室効果ガス排出量合計 [トン CO2e] • 温室効果ガスインテンシティ [トン CO2e/製品生産トン数] • 総エネルギー消費量 [GJ] • エネルギーインテンシティ [GJ/製品生産トン数] • 総水量 [m3] • 水インテンシティ [m3/製品生産トン数] • 総廃棄物量 [kg] • 廃棄物量インテンシティ [kg/製品生産トン数] 安全指標 • 記録可能な怪我/病気の発生率（20 万時間当たりの怪我/病気の発生数） 社会的指標 • 総従業員数 (#) • 総プロフェッショナル従業員数 (#) • 総オペレーショナル従業員数 (#) • 役員総数 (#) • 取締役会の人数（#2021 年） • 労働力 - 女性（%）と男性（%） • 専門職 - 女性（%）と男性（%） • オペレーション職 - 女性（%）と男性（%） • 幹部職 - 女性（%）と男性（%） • 2020 年および 2021 年の取締役会の女性比率%
報告基準	スコープ 1 および 2 の温室効果ガス排出量の WBCSD/WRI GHG プロトコル; Livent の社内報告基準および定義
保証基準	国際保証業務基準 ISAE 3000（改訂版）に基づく ERM CVS の保証方法。
保証レベル	限定的な保証
各自の責任	Livent は本報告書の作成および本報告書内の情報の収集と表示に責任を負う。 ERM CVS の責任は合意された範囲について、実施した保証活動と専門的判断に基づいて結論を提供することである。

事項の強調

当社の結論に変更はないが、2020 サステナビリティレポートの温室効果ガスデータに関連して Livent が提供した説明書、特にスコープ 1 およびスコープ 2 の温室効果ガス排出量のデータに関連する制限事項に注意を喚起する。

当社の結論

以下に説明する当社の活動に基づき、上記「スコープ」の環境指標に関する 2020 年のデータおよび関連する説明文が、すべての重要な点において報告基準に照らして公正に表示されていないことを示すものはないと判断した。

当社の保証活動

当社の目的は保証された排出量データが完全性、比較可能性（組織全体）、正確性（計算、適切な換算係数の使用、連結を含む）の原則に従って報告されているかどうかを評価することである。

当社は保証の結論の根拠となる必要があると考えられるすべての情報と説明を得るため、作業を計画・実施した。5%の重大な誤りの閾値を適用。

EHS 専門家と保証専門家からなる複数の分野にまたがるチームが以下の活動を実施した：

- 選択した指標の収集・報告に使用されている関連管理システムおよびプロセス（内部レビュープロセスを含む）を理解・評価するため、関連スタッフにインタビューを実施。
- 2 つの事業所（ベッセマーシティ、アメリカ Salar del Hombre Muerto、アルゼンチン）を「仮想」訪問して、関連スタッフとの面談、報告されたサイトレベルのデータについての議論、基礎となる証拠書類の収集/検討を実施。
- データの分析レビューと使用されている変換係数や排出係数を含む、企業データの統合の完全性と正確性の確認。
- 企業レベルで、報告された情報を裏付ける質的・量的な証拠のサンプルをレビュー。
- 当社の調査結果との整合性を確保するため、報告書における当社の作業範囲に関連する情報の表示を確認。

当社の関与の限界

COVID-19 に関連した渡航制限のため、当社の保証活動はデータおよび関連情報のデスクトップレビュー、Livent 担当者とのバーチャルミーティング・インタビューで構成されています。

基礎となる情報を決定・計算・推定するために利用できる方法を考慮すると、保証対象となったデータの信頼性は固有の不確実性を伴います。当社の保証の結論をこのような観点から理解することは重要です。

生産データは保証業務の範囲そのものではなく、ERM CVS は生産データの正確性と完全性に信頼を置き、それらを原単位の数値の保証に使用しました。

当社の見解

当社は Livent に対して、詳細（重要ではない）な調査結果と推奨事項を記載したマネジメントレポートを別途提供している。上記の結論に影響を与えることなく、当社は以下の重要な見解を述べます。

- 指標の定義・方法論・連結の境界線など信頼性のある一貫したデータをすべてのサイトで長期的に作成するために、十分に詳細な内部ガイダンス文書の開発と改良を継続すること。

Beth C. B. Wyke
Global Head of Corporate Assurance
2021 年 6 月 14 日
ERM Certification and Verification Services、ロンドン
www.ermcvs.com - Email: post@ermcvs.com

ERM CVS は *ERM* グループの一員です。*ERM CVS* が顧客のために行う業務は、独立保証活動と監査人のトレーニングにのみ関連しています。当社のプロセスは、顧客との間で行う業務に偏りや利益相反がないことを保証するために設計さ・実施されています。*ERM CVS* および保証業務を担当したスタッフは、いかなる点においても *Livent* にコンサルタント関連のサービスを提供していません。

Livent